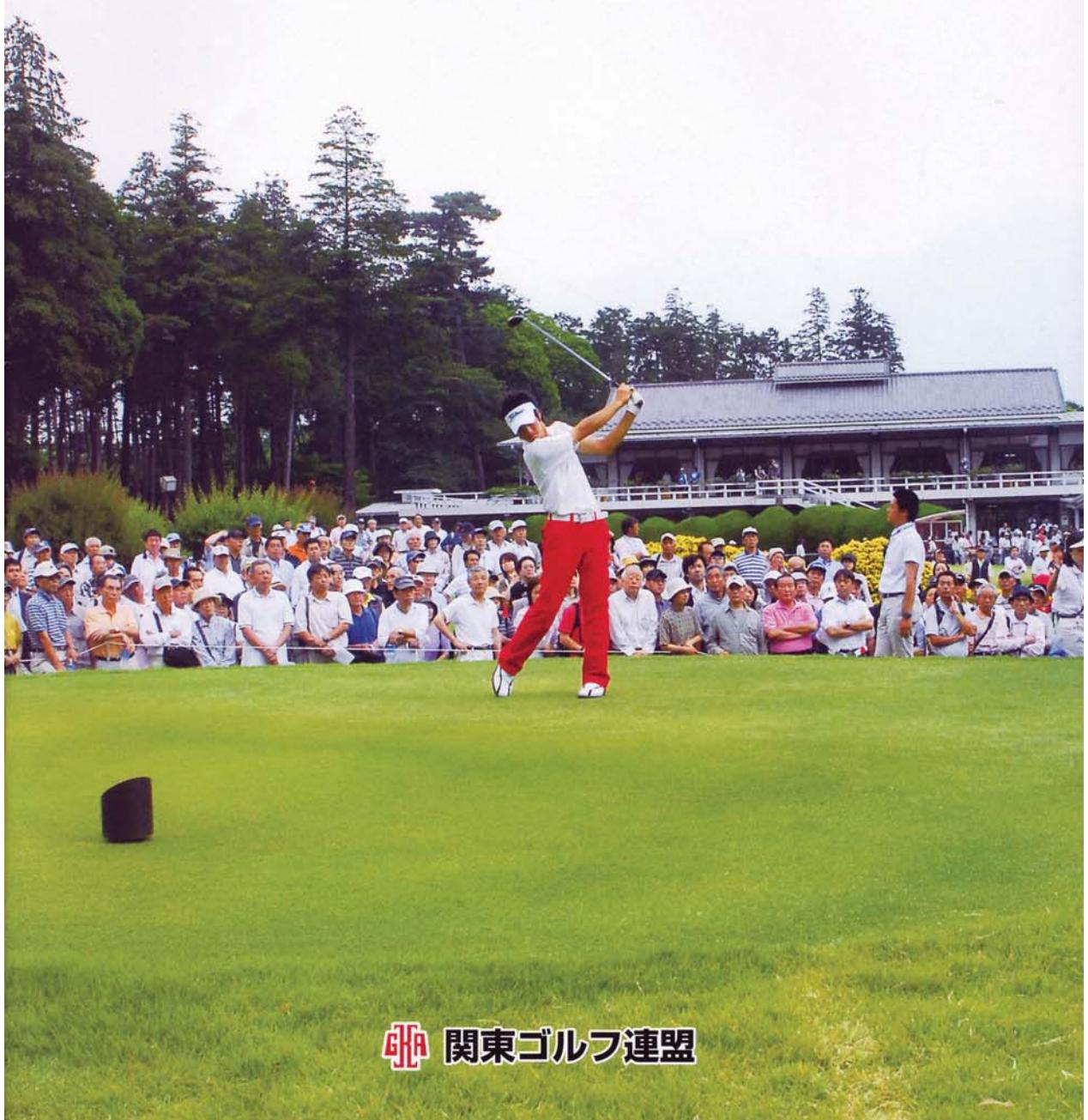


# KGA NEWS

2007夏号  
2007年9月1日発行

No.95



 関東ゴルフ連盟

KGA NEWS No.95

2007夏号 2007年9月1日発行

## CONTENTS

- 特別寄稿／徒花（あだばな）とならないために  
弁えたいゴルフのプリンシバル ..... 2
- 平成19年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技  
ハニカミ王子フィーバーの中  
蘭田峻輔選手独走優勝 ..... 5
- 平成19年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技  
森桜子選手が念願の2連覇 ..... 12
- 平成19年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技  
堅実なプレーで優勝を飾った実力者  
中野貞宜選手 ..... 15
- 平成19年度 第61回関東倶楽部対抗決勝競技  
プレッシャーをはねのけたチームワークの勝利 ..... 18
- 平成19年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技  
真夏の熱く爽やかな戦い  
ジュニアのレベルはさらに高く ..... 25
- 平成19年度 第19回KGAジュニアゴルフ大会（茨城ゴルフ倶楽部）  
スコアにこだわらずのびのびプレー ..... 30
- 特別対談／インタビュア高橋KGA広報委員長  
1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く——第8回 群馬県  
ユニークな競技運営で参加者を増やす群馬県 ..... 33
- KGA主催競技のハンディーキャップ制限について ..... 40
- 平成19年度 第54回グリーン研究講習会  
異常気象関連で熱心な討議 ..... 42
- 新規加盟倶楽部紹介・月例競技成績表 ..... 44

### 表紙 Photo

関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技  
千葉カントリークラブ 梅郷コース  
(撮影: 球越克一 KGA広報委員)  
クラブハウスを背景に、多くのギャラリーの視線を  
浴びてティーショットする石川遼選手



石川遼選手の姿を追うカメラマンの数も史上最高



関東倶楽部対抗決勝、盛大な表彰式を行った東千葉CC



関東ジュニア決勝 高木達の先生も運営に協力。  
スタート呼び出しをする



関東女子決勝会場の鹿ヶ崎CC  
11番のグリーン前一満開のアカシアに囲まれて。



石川遼選手が15歳の若さでプロのツアー競技に勝って以来、世間は待望久しい「スター誕生」に湧き返った。並み居るツアープロを高校1年になったばかりの少年が打ち負かしたのだから無理はない。そのこと自体は明るい話題にちがいないのだが、チャンピオンになったからには、たとえ15歳の少年であってもチャンピオンにふさわしい矜持が求められる。言い換えれば、チャンピオンとしてのプライドや品位品格を求められるのだ。

健気にも少年もそのことに応えようとしている。それが少年をひと回り大きなチャンピオンゴルファーに仕立て上げるとしたら、大変に喜ばしいことだが、逆に「世間の大騒ぎ」が徒(あだ)となり、大輪の芽を摘むようなことになれば、彼にとってもゴルフ界にとっても残念で不幸なことである。そうならないためにはどうしたらよいか――。

#### ◆18世紀スコットランドの慣習

少しばかり話は逸れるが、18世紀のスコットランド各地に設立されたゴルフクラブの目的の1つはクラブ選手権を開催することだった。そ

して、チャンピオンとなった者は同時にクラブの最高権威者であるキャプテンとなり、さまざまな決め事の最終的な判断を下したという(1744年に設立された『オノラブルカンパニー』のクラブ史による)。

このことはゴルフという競技を考える時、きわめて示唆に富んだ命題を提起している。といふのも、チャンピオンにはキャプテンとなるにふさわしい見識や品位品格が備わっているという暗黙のコンセンサスが、会員にいきわたっていたと思われるからだ。

技術的に優れても、見識や品位品格が備わった者がチャンピオンになるとは限らないのではないか。現代のわれわれ日本のゴルファーはいささか疑問を持つのだが、しかし18世紀のスコットランドのクラブには疑問を持つ会員はいなかった。誰がチャンピオンになっても、全ての会員がキャプテンにふさわしい見識と品位品格を備えていたからだ。

「ジェントルマンだからゴルフをやるのでない。人はゴルフをやっているうちにジェントルマンになるのだ。」

18世紀のスコットランドのゴルファーは、そ

う考えていた。

この考え方の根底には、

「ゴルフにおいて正しいことは何か。正しくないことは何か」

という、きわめて当たり前のことがコンセンサスとなって脈打っている。そして「ゴルフにおいて正しいことは何か」を学習すれば「社会人として正しいことは何か」を学べ、ジェントルマンになれることを示唆する。これこそはゴルフの持つ美德といつていい。

#### ◆良化したジュニアの質と量

何年か以前のジュニア競技には、雄鶲がラフで卵を産むとか、悪いスコアだと父親に怒られるのを恐れてスコアを改竄するとか、「あってはならないこと」が起った。親の射幸心がジュニアをミスリードしたのだ。

幸いなことに近年は、ジュニアゴルファーの質と量はきわめて良化した。各種団体が何年もかけて地道な活動をつづけてきた成果である。石川選手は突然変異で出現したのではなく、彼と遜色のないジュニアが層を成しそのなかから生まれるべくして生まれてきたのだ。

ひと言で言えば、土壌が肥えた。誰がチャンピオンになっても、チャンピオンとなるにふさ



ジュニアの成長は各種団体が活動を続けた成果だ



わしい美德を涵養させようとする土壌が耕されたのである。

「ゴルフにおいて正しいことは何か。正しくないことは何か」

これはゴルフ発祥以来の命題であり、プリンシバルと言つていい。18世紀のスコットランドのゴルフクラブが、チャンピオンを何の抵抗もなく、最高の権限を持つキャプテンに据えたのは、その命題を誰もが弁えていたからであろう。チャンピオンになって初めて弁えていたのではない。全ての会員が等しく弁えていた。

素晴らしいことに、21世紀のジュニアゴルファーも同じように、その命題を弁えてゴルフと取り組んでいるからこそ、チャンピオンとなるにふさわしいプレーが全う出来たのである。ゴルフではさまざまなことが試される。技術的なことを含めたケースバイケースの判断力、責任の取り方、コースや人に対する配慮、自然に対する畏敬と共に、宽容。さらにはコースやクラブハウス内での立居振舞い、ゴルファーにふさわしいドレスコード等々、ゴルフでは何が正しく、何が正しくないか。そうしたことを、ゴルフ場に一歩、足を踏み入れた途端に試される。

15歳の少年がプロツアー競技に優勝したこと

は素晴らしい。だが、もっと素晴らしいことは、長い歴史と伝統によって培ったプリンシパルを弁えていたことではあるまい。

#### ◆ゴルフの命題をス poilする過熱報道

ところが、その後の各種マスメディアの報道は、「15歳の優勝」だけがセンセーショナルに取り上げられた嫌いがある。プロの試合に勝ったのだから、アマチュアの試合は総ナメして勝ちつづけるだろう、といった見方で報道し、世間を煽る。そのことが、どれほど未成年のゴルファーの負担になるかも弁えずに――。

こうした加熱した報道ぶりは、スポーツ報道というよりアイドルを追い回す芸能界のミーハー報道を思わせる。悪いことにそれが、「ゴルフでは何が正しく、何が正しくないことか」という、ゴルフ本来が持つ命題までス poilし、強いてはゴルフのフィールド全体を汚がす。

挙げ句の果てに、将来を嘱望される多くの少年ゴルファーにまで悪影響を及ぼしでもしたら、せっかく耕された「土壌」は一転して荒廃し、不毛の地になりかねない。そうならないためにには、どうしたらよいだろうか。

その妙案は直ぐには見つかりそうもないんだが、あるとすればやはり、「ゴルフにおける正しいこととは何か。正しくないこととは何か」という、ゴルフの歴史と伝統が培ったプリンシパルを機会あるごとに言いつづけることではあるまい。

スポーツの醍醐味は、スポーツマンシップに則って勝つことにある。プレーする側がそうなら、報道する側と観戦する側の醍醐味もスポーツマンシップに則ったスピリットがなければ報道の価値も観戦の価値もない。チャンピオンゴルファーに矜持があるように報道にも観戦にも矜持が求められるのだ。

そうでなければ日本のゴルフ文化は、いつま



で経っても世界のゴルフに通用しない徒花となるであろう。

#### ◆若者の将来を「正しく」楽しみたい

最後になったが、ちなみに今年度の各地区ゴルフ連盟主催の選手権大会の優勝者と年齢を挙げておく。(年齢は優勝当時)

- ☆北海道アマ 安本大祐20歳 (1987年生)
- ☆東北アマ 中道洋平21歳 (1985年生)
- ☆関東アマ 薗田峻輔17歳 (1989年生)
- ☆中部アマ 渡辺権人19歳 (1987年生)
- ☆関西アマ 西田弘樹18歳 (1988年生)
- ☆中国アマ 松本新語53歳 (1954年生)
- ☆四国アマ 前田和宏18歳 (1989年生)
- ☆九州アマ 仲西盛弘18歳 (1989年生)

10代の若者が大勢を占めているのだが、彼らはチャンピオンになったとはいえ、人間としてもゴルファーとしても成長過程にあるのだから順調に「成長路線」を歩みつづけるためには、本人の研鑽はもとより、オトナ達がミスリードしないようにしなければなるまい。

先途洋々たる若者には明るい未来が待っている。その将来をみんなで「正しく」楽しみたいものである。



大ギャラリー注視の中でも動じない薗田選手のフィニッシュ

吉田理事長(左)より優勝の楯を受けた薗田選手

すべてが異例ぞくめの関東アマチュアゴルフ選手権だった。

史上初、15歳8カ月でプロツアーカップに優勝した高校生アマチュア・石川遼選手(杉並学院高校1年)が出席するとあって、テレビ・新聞・雑誌などスポーツ・マスコミが大挙訪れ、主催の関東ゴルフ連盟、開催コースの千葉カントリークラブ梅郷コースが異例の大会運営を強いられた。連日訪れるマスコミ関係者がトータル約80社、200名。スーパーニューヒーローを観戦したいと集まるギャラリーが1日平均3,000人、4

日間トータルで12,000人に及んだからである。5,000台の駐車場確保、仮設トイレ、18ホールのギャラリーロープの設置とあらゆる方面で、プロツアーカップ同様の運営になった。この運営にかかった費用は約1,000万円、ゴルフの普及・発展に寄与しただろう大会ではあったが、一部マスコミの過熱した報道不祥事もあって、連盟関係者の表情には明暗両面が見られた。それは東京在局のTBSテレビ(東京放送)が石川選手の同伴プレイヤーにピン・マイクの携帯を依頼した“盗聴事件”(幸い未然に防げたが)や試合



2位。豊島選手の見事なフォーム



3位入賞中島選手の精悍な表情

中のヘリによる俯瞰撮影など、“ハニカミ王子”フィーバーの行き過ぎ報道が発覚したからである。試合の後日、テレビ局は関東ゴルフ連盟に謝罪した。

昭和13年に創設された伝統ある大会の歴史に、新たな1ページを加えたわけだが、後世の歴史家はこの現象をどう評価するか？ 一抹の不安が残る大会だった。

### チャンピオンの系譜を見てもわかる 学生・ジュニアの強さ

例年、梅雨の時季に行われる関東アマだが、今年はカラ梅雨とあって、連日曇り時々晴れの天候、ただし気温や湿度は高く、汗と熱気に包まれた4日間だった。その熱気とは石川遼選手一人に集中する報道合戦で、優勝候補筆頭の杉並学園高の先輩、蘭田峻輔選手（東千葉）とのツーショット撮影やインタビューが急遽設営された巨大プレス・テント内で連日のように繰り広げられた。

蘭田選手といえば、昨年の関東ジュニア選手



4位入賞は平成14年日本アマ優勝者の藤田選手

権（男子15歳～17歳の部）チャンピオンで、開催コースも同じ千葉CC梅郷コースだった。その大会時のヤードージが7,111ヤード・パー72。そこで、69・73=142ストロークのトータル2アン



5位に入賞した近藤選手



喜びの優勝蘭田選手（左）と祝福する石川選手

ダーマーをマーク、同スコアの青木龍一選手（関東学院六浦）とのプレーオフを制したのだ。今大会の関東アマでのヤードージ設定も同じだったのだから、昨今のジュニア選手がいかに飛距離があり、レベルが高いか、想像がつくはずであろう。過去のチャンピオンの系譜をみると、平成6年の片山晋吾選手（当時日大）以来、12年間にわたって学生・ジュニアの名が並んでいる

### 梅郷コース（千葉CC）も大わらわ

送迎バスが到着すると、多数のギャラリーが吐き出される。その様子をハウス玄関で見ていて、開催コースの現場責任者の多田専務（千葉CC・本社）に「順調に伸びていますね」と極楽トンボみたいな挨拶をすると、「こっちは真っ青だよ」とのご回答。同専務に今大会の感想を伺った。

「5年前、日本女子オープン開催の際は十分な準備期間もあり、ボランティア1400名弱の応援もあった。今回は、全く突然、且つギャラリー数の予想も立たない中での対応であったが、KGAの指導、地元役所関係とゴルフ場取引先各社からの方ならぬご協力をいただき、天候にも恵まれギャラリー、報道陣の方にも何とか満足いただけて閉幕できた。大会終了後、6月10日に大暴れした雷が、もし、大会期間中に来ていたらと思うと、ぞっとする」とのこと。责任感溢れる多田専務、本大会のため尽力戴いた従業員の皆様に感謝したい。

### ○事務局も大活躍

今回の経験は関東アマの歴史に新しい1ページを残した。実質僅か12日余りの限られた期間内にマスコミ対策等従来経験のない諸準備を整え、ギャラリー増加に付き物の飛入りの騒ぎ等についても、加藤事務局長以下KGA皆さんの懸命な努力、冷静、沈着な対応によって無事に乗り切った。事務局も貴重な体験をしたわけだが、さすがに競技が無事に終わって、胸をなで下ろす姿が印象的だった。 森口静彦（KGA広報委員）

のだから当然なのだが。

結論を先にいえば、今年もジュニアのチャンピオン誕生で、それが報道の焦点だった石川選手ではなく、蘭田峻輔選手だった点が大方のギャラリーの期待を裏切る結果だった。

### 遼君もライバルの一人、負けたくない

予選2ラウンドに挑んだ選手は156名、その中にはこの大会に6回優勝したベテランの阪田哲



大観衆の見守る中、ティーショットする石川選手

男選手（袖ヶ浦）や昨年の大会で3年ぶり2度目の制覇を達成した伊藤勇気選手（日大）もいたのだが、テレビや新聞・雑誌報道のカメラや記者が注目するのは石川選手一人という異様な雰囲気だった。

その石川選手は初日73、2日目74のトータル147（3オーバー）で、8位タイ。首位を行く蘭田選手と豊島豊選手（東千葉）とは6打差の水が開いた。それでも、「まだ好位置。攻めるゴルフ・スタイルを変えるつもりはありません」と爽やかな笑顔。一方、先輩の蘭田選手は「遼くんもライバルの一人。負けたくはない」ときっぱりいう。

この二人のスイングについて、阪田選手は「171度、64度の体をきれいに素速くターンさせ

異例づくめの平成19年度関東アマ

## 突如発生したハニカミ王

関東アマ決勝の2週間前（5月20日）、プロツアーに初出場した石川遼選手が世界最年少記録で優勝し、爽やかな笑顔とハニカミ王子の名前が旋風の如く日本列島を席巻した。その石川遼選手が出場すると言うので、マスコミ各社から本大会の取材申込が殺到した。従来のアマ競技の取材は1社か2社、ギャラリー数にしても数十人程度に過ぎないものだった。それが本大会では約80社、200名近い取材スタッフが押しかけて来る。連盟事務局と開催コースはてんてこ舞い。以下は、アマ競技としては前代未聞のハニカミ王子が巻き起こした数々の旋風の全てだ。

### ○マスコミ旋風

早朝6時半から、マスコミ各社の取材受付を開始する。広報委員3名がかかりきりで対応。人数を確認し、プレスバッジ、ビブス、取材上の注意事項を書いた印刷物等を交付する。

最終日には、用意したプレスバッジが払底、その場で急遽作って渡すことも。

また、ヘリコプター取材、石川選手の話し声盗聴、女性キャスターの色紙差入れなどを企てるテレビ

るのに、リズムがゆっくりに見えるのは素晴らしい。広いスタンスでそれが出来るのは若さによる柔軟性。ただ、小技がいまひとつは経験が浅いからだと思う。こんな逸材は周囲が上手に育てないといけない」と絶賛する。もうひとり、内藤正幸競技副委員長は「石川君よりも蘭田君の方が体もスイングも完成度が高いと思う。グリーンを外した後の処理に、技術の差が出る」と分析した。

## 子旋風

森口 静彦（KGA広報委員）

局もあって旋風から暴風に発達した。

○ギャラリー旋風

テレビ、ラジオで競技の模様が放送されると、ギャラリーが集まり出した。九州から駆けつけたり、女子高生が「ゴルフ場に入るのは初めて」と言いながら王子のパーティを追いかける。梅郷コース（野田市）は石川選手の出身地、松伏町（埼玉県）に近いせいか、自転車、バイクで応援に駆けつける人もいて、4日間合計11,800名のギャラリーが集まった。このため、急遽、全ホールにロープを張り、バスを増發（10台／日）。簡易トイレも15基を30基に増設した。ギャラリー用の観戦資料も15,000部を作成、また、ガードマン延べ80名のほか、フォアキャディ15名、誘導員8名を投入するなど。

一方、ギャラリーはゴルフを観戦に来たというより、ハニカミ王子を見に来たという人たちが多く、王子を追いかけて移動し、係員の制止も聞かず携帯のカメラをパシャパシャ。他の選手のプレーには全く無頓着でボールなど見ていないからボールが当る事故も2件ほどあった。ギャラリー同志の喧嘩騒ぎもあったが、いずれも大きなトラブルにならなかったのが幸いであった。

### ○ギャラリー・プラザ旋風

アプローチ練習場を開放して大テント2張を設営、弁当販売1店、パン類販売1店、飲み物販売2店が開業。「ハニカミ団子」、「はにかみパン」等が売り出された。およそアマ競技としては考えられないことだ。

### ○共同記者会見旋風

毎日、18番グリーン奥の大型テントで石川選手の共同記者会見が開催された。テレビカメラ7台、カメラ30台、記者席100席余が用意された。これもアマ競技としては異例なこと。ここで取材された王子の発言の一言一句が翌朝のスポーツ新聞の第一面を飾った。

また、ハウス2階に設けられたプレスルームでは、夜10時過ぎまで記者達が記事をつくり、本社に送信する。コースの従業員は当然のことながら付き合い残業だ。お疲れの様子がありありと伺われた。



報道陣でごった返す玄関前



帰りのバスを待つ大ギャラリー



プレステントも設置された

に和田雅英（東京五日市）、藤田大（臥月・佐野）の社会人選手が追走する形だった。

### 多彩なワザでスコアをまとめる蘭田選手

そして最終日、川田太三氏の改造設計で新装なった梅郷コースがラフを100%近くに伸ばし、グリーンを11.5フィートというスピードにし、難度をさらに高めたのか、日本アマ・チャンピ

オンの藤田大選手が76、和田雅英選手が80を叩く乱調で後退。まさに優勝の2文字が見え始めるプレッシャーが選手を金縛りにすることが想像された。

しかし、そんな緊張感の中で、一人だけクールにプレーを続けるのが蘭田選手。1番ホールをボギーにした石川選手に対し、バーディで発進した蘭田選手が3番、210ヤードのパー3でグリーンを左エッジに外した。ピンは右エッジから6ヤードだから、およそ25ヤードはあるアプローチを残す。彼が60度のサンド・ウェッジでピッチ&ランをした瞬間、内藤正幸同行競技副委員長が「入った！」と小声で呟いた。そう、ボールはスルスルと走り、カップに消えたのだ。「あの柔らかいタッチは高校生とは思えない技術。打った瞬間に思いました」と後で説明した。これで、3アンダー。事実上、優勝した蘭田選手のスコアがトータル285の3アンダーだから、この時点で優勝者は決定していたことになる。グリーンを外しても多彩なテクニックでスコアをまとめる腕前は、たしかに石川選手を凌ぎ、高校



石川選手を追う多くのギャラリー

生とは思えない成熟したものだった。プレー態度も気温24.5度の熱気の中で、クールに振舞う姿はベテラン選手並みなのだ。

結局、話題の主、石川選手は76を打って、トータル9オーバーの297。8位タイで日本アマ出

## ロープの外から見た石川遼選手

最終日、石川遼選手の組に朝の1番からついて歩いた。この日も約3千人の観客が千葉CCに集まっていたが、そのほとんどがこの組につくのだから凄まじい。プロのトーナメントの最終日最終組よりも観客が多いように思えてしまう。各ホール、ティーインググラウンドからグリーンまで観客がロープ際にいるのである。

観客にゴルフを知らない人が多く、デジカメや携帯電話による撮影が横行したり、プレー中に動き回ったり、声を発したりというギャラリーのマナーの悪さを指摘するマスコミの報道があったが、この日はそうしたことはほとんどなかった。

しかし皆一様に遼選手を応援するので、彼がいいショットをすれば「ナッシュショー！」と声が飛びぶが、バットを外すと「あーあ」とため息が合唱となる。それでなくともがっくりと来る3バットが、



ケータイでパチリ…初日の風景。

余計に心の痛手になるよう思ってしまった。将来のある高校生である。観客はミスをしたときほど、温かく見守って欲しいし、ため息などせずにぐっと我慢して欲しい。

プロでもショートパットを外したときに観客からの嘲笑でイップスになった選手は大勢いるのである。パットはゴルフのショットの中でもそれほどにナーバスなものであるからして、十分に気を配って欲しいと感じた。

本條 強 (KGA広報参与)



グリーンを取り巻く大観衆の中でのプレー

場権をゲットしただけに終った。

優勝後のインタビューで、蘭田選手は「関東ジュニアに続いて関東アマに勝てて嬉しい。KGAと千葉カントリークラブ梅郷コースにありがとうございます」と優等生的なコメントを残した。

中学2年生の頃、豪州に渡り、英語とゴルフ

留学した経験のあるだけに、風貌はあどけなさを残す童顔だが、言葉と物腰は大人びたもの。3歳の頃からクラブを握り、小学5年生からカナダ人のティーチング・プロの指導を受けているのだから、ゴルフ歴は長い。177センチ、80キロの体躯はまだ成長過程だろうから、早く国際的な選手に育てて欲しいものだ。

## 平成19年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年6月4日～7日 ●開催倶楽部 千葉カントリークラブ・梅郷コース 7,111ヤード パー72

エンター 159名/出場者 156名/欠場者 3名

順位	選手名	所属	第4ラウンド		合計
			アウト	イン	
1	蘭田 岷輔	東千葉	35	35	285
2	豊島 豊	東千葉	36	35	290
3	中島 敏	昇仙峡	33	35	291
4	藤田 大	草月・佐野	39	37	294
5	近藤 孝宣	関東ジュニア	40	36	295
5	岡部 大輔	城里	35	36	295
7	水上 晃男	袖ヶ浦	35	38	296
8	石川 遼	関東アマ	39	37	297
9	渡邊 優登	ロイヤルスター	36	39	298
9	和田 雅英	東京五日市	40	40	298
11	杵織 謙二	ノースショア	40	37	299
12	矢代 直仁	新千葉	36	37	300
12	大槻 智春	千葉桜の里	38	37	300
14	高田 聖斗	米山水源	37	34	301
14	小池 一平	諫訪レイクヒル	38	37	301

主な成績 (日本アマチュアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	所属	第4ラウンド		合計
			アウト	イン	
16	小平 智	鹿	40	36	302
16	杉山 稔	総武	37	38	302
16	若林 明宏	城西大	37	40	302
16	高橋 賢	秦野	38	40	302
20	岡田 壮広	草月・佐野	39	34	303
20	藤田 勇樹	パークレイ	39	35	303
20	大田和桂介	ケントス	34	36	303
20	館 英樹	富士笠間	39	38	303
20	米本 貴昭	セゴビア	38	39	303
25	永野竜太郎	関東アマ	36	38	304
25	芳賀 洋平	中央学院大	38	39	304
25	宮里 政志	ノースショア	38	40	304
25	真田 雅彦	リバーサイドフェニックス	45	41	304
29	楠 啓吾	レイインボ	37	34	305

■平成19年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技



優勝した森選手の見事なフォーム

## 森桜子選手が念願の2連覇

—コースマネージメントとセルフコントロールの成果—

文／森口 静彦 (KGA広報委員)  
写真／舟橋 一芳・塚越 克一 (KGA広報委員)



尾関副理事長より優勝杯を授与される森選手

### 絶好のコンディションの競技初日

5月14日、第1日目の競技が開催された。使用グリーンは、井上誠一氏設計では高麗であったが、ベント (CY-2) に変更し、昨年4月から使っているものだ。距離は6,141ヤード、パー72に設定された。天候は晴れ、気温20.3℃。まずは、文句の付けようのないゴルフ日和だった。

初日の競技の結果、バーブレーは高橋友希子(日本)、綾田紘子(大宮国際)、志賀友香(塩原)の3選手。デフェンディング・チャンピオンの森桜子選手(扶桑)は1打ビハインドの73。以上4名は奇しくも皆イン・スタート。次いで、+2は直井梨瑛選手(かずさ)。6位タイ、75は青木瀬令奈(白水)、小山恵利子(関東女子)、原田沙織(富士平原)の3選手。9位タイには関東ジュニアの亀井綾夏、斎藤愛璃など8選手がひしめく混戦状態となった。

初日の競技結果に基づく各ホールの難度は①9番(アゲンストバー1.14)、②10番(同1.01)、③



2位の菊皿を受ける亀井選手

11番(同0.86)となり、平成8年の日本女子オープンの時の難度と一致する。この3ホールはまさに女性にとってのアーメンコーナーだ。

特記事項は16番パー3(170ヤード)で奥山ゆかり選手(駒澤大)がホールインワンを達成したこと。次は、綾田紘子選手が4番パー5(473ヤード)でイーグルをマークしたことだ。

### 雷でプレー中断の最終日

決勝最終日5月15日、取材に駆けつけた広報子は練習グリーン、ティーインググラウンド近くの選手達を見て「ヤヤッ、ここはジュニア選手権の会場ではないのか?」と一瞬我が目を疑つた。若鮎の如くピチピチしたジュニア、学生達、キャディーバッグからはみでているヘッドカバーもかわいいものばかりだ。スタートの遅い組にはいわゆる大人のいない組もあって、若鮎達に占領されている。1番ティーの横で、元龍ヶ崎CCの所属プロとして日本オープン、日本女子オープンの運営を手掛けた宮本忠男プロと観戦していたが、「皆よく飛ぶなあ」とプロもビックリだ。

全選手を見送った時点では快晴、微風の絶好のコンディション。ところがやがて、雲行きが怪しくなり、12時40分頃、野口競技委員長から「雷雲が龍ヶ崎の南を移動中につきプレーを中断する」との放送があって全選手がクラブハウスに引き上げた。1時頃には、遠くで雷鳴が響き、

フラッグが西風に強く吹かれた。雨も降り出した。

野口委員長からプレー再開の放送があったのは2時近く。選手達は15分前には所定の位置で待機しており、直ちにプレー再開。雷の通過後、気温が下がり、風も吹き出したため選手達は半袖シャツの上に長袖を着用、或は半ズボンを長ズボンに替えたり、ウインドブレーカーを羽織ったりとウエアを変えて対応していた。

### 富永選手が3アンダーで急浮上

フロント9を終えて、最終組の2組前の富永麻友美選手(鷹彦スリー)が33でターンし、前日の+4から+1と急浮上。また、1組前の青木選手はバーブレーで+3を維持。最終組初日バーブレーの3人のうち、志賀選手は37で+1に踏みとどまつたが、高橋選手は41を叩き+5、綾田選手42で+6と後退した。一方、森選手はアーメンコーナーの9番でダブルボギーを叩いたのが響いて38、+3でターンした。

森選手の話では「ハッキリしたコースマネジメントもないまま、迷った状態で打った」



最終日に急浮上した富永選手

第2打が右の林へ。第3打は出

すだけ。4オン2パットになったのだという。

富永選手がインでどこまでスコアを伸ばすか。また、青木選手からも目が離せない。最終組の志賀・森両選手の対決も見たい。どの組に付いたものか思案投げ首だったが、トップとの2打差を森選手がどうカバーするか、最終組に付いて観戦することとした。



ホールインワン！奥山選手



最年長の近藤信子選手

イン10番、いわゆるS字コースで前記6選手全員仲良くボギーを叩いた。飛びすぎてラフに入れると芝がきつくて砲台グリーンまで第2打が届かない。井上誠一氏設計の罠（わな）だ。

先行の富永選手は13番で痛恨のダブルボギー、18番でもボギーを叩いて+5でホールアウトした。

続く青木選手も13番、18番がボギーで+6。最終組の志賀選手は10から14番まで連続ボギー、さらに16番ボギー、18番はダブルボギーを叩いて+9。

### 森選手が2打差を逆転、2連覇

一方、森選手は10番ボギーの後、パーの連続、17番でバーディを取り、36でホールアウト。富永選手との2打差を逆転し、かつ2打差をつけてチャンピオンの座を守った。優勝スコアの+3

は平成8年同コースで開催の日本女子オープンの優勝スコア（高村亜紀）と同じだ。

森選手が9番でダブルボギーを叩いて、インに向かったとき、緊張が切れないか懸念したのは、広報子の杞憂であった。森選手本人は、まだ9ホールチャンスが残っていると考えていたという。最後まで諦めず、自分を信じて一打一打に集中してプレーした。そして、「ゴルフは心だ」ともいう。その時の心の持ちようでどうにでもなる。しっかりした心でプレーすれば良い結果に繋がると信じてプレーしているという。セルフコントロールとコースマネージメントの大切さをナショナルチームで学んだそうだ。

念願の2連覇を果たした森選手はスポーツ万能でサッカーもこなす東北高校3年生。平成になって19回の大会のうち、社会人の優勝は僅かに2回（8年板垣真由美、13年田村潤子）のみ。平成14年以降、ジュニア・学生に優勝を奪われ放しだが、若い人が強いことは将来に明るい期待が持てる。森選手は「身長はまだ160センチ、目下、成長中」という。ゴルフの腕もまだ成長中、今後の成長が楽しみな選手である。

### 平成19年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年5月14日、15日

●開催倶楽部 龍ヶ崎カントリー倶楽部 6,141ヤード パー72

エントリー140名/出場者140名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	森 桜子	扶桑	73	74	147
2	亀井 純夏	関東ジュニア	76	73	149
2	富永麻友美	鹿児島リーグ	76	73	149
4	青木綾奈	白水	75	75	150
5	綾田 紗子	大宮国際	72	79	151
6	関 舞	東千葉	76	76	152
7	岡宮 路子	小田原湯本	76	77	153
7	高橋友希子	日本	72	81	153
7	木戸 愛	ロイヤルスター	77	76	153
7	志賀 友香	塙原	72	81	153
11	水野真由美	日本大那	77	77	154
12	金宮 美司	河	81	74	155
12	横須賀直美	セブンレイクス	76	79	155

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
12	阿部 悠	柏崎黒姫	79	76	155
12	齊藤 愛璃	関東ジュニア	76	79	155
16	田中 真弓	成田東	76	81	157
16	嶋田 江莉	アザレア	78	79	157
16	杉山沙羅紗	東京五日市	77	80	157
16	桑原えりか	日高	77	80	157
20	西村 友希	太平洋・佐野ヒルズ	82	76	158
20	原田 沙織	富士平原	75	83	158
22	小川 真実	オリムピック	76	83	159
22	杉山 美帆	上武	78	81	159
22	植田希実子	大宮国際	79	80	159
22	南雲 貴菜	岡部チサン	77	82	159
22	小川茉奈美	新千葉	79	80	159
22	矢嶋 里菜	霞ヶ関	79	80	159

### ■平成19年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

## 堅実なプレーで優勝を飾った 実力者 中野貞宜選手

——ボギー1コで2位に4ストローク差——

文／塩田 正（KGA広報委員） 写真／増田 收・岩崎俊男（KGA広報委員）

平成19年度関東グランドシニア選手権決勝競技は、5月28日、霞ヶ関カントリー倶楽部西コース（6340ヤード＝パー73）で、122名（エントリー125名）の選手を集め、18ホール・ストロークプレーで行われた。結局、アウトを2アンダーの34、インはパープレーの37でまわった中野貞宜選手（東我孫子）が2位の高橋久雄（東松山）、山本法光（GMG八王子）の両選手に4ストロークの差をつけて初優勝を飾った。

### 完璧2アンダーで大逆転

この日は、気温19度、微風、くもりといったゴルフには絶好のコンディション。まず午前のラウンドでは、アウトを9時48分にスタートした山本法光選手（GMG八王子）が2アンダーの34で上がり、アウトスタートの中村清選手（水戸）、伊藤勲選手（八王子）、それにインスタートの中野貞宜選手の37に3ストローク差をつけて優位に立った。

さらに4ストローク差の38には高橋久雄選手（東松山）、富田一幸選手（ロイヤルスター）、小坂孝二選手（八王子）、関本照文選手（朝霞ジャ

ンボリー）、金本浩明選手（横浜）などの顔が並び、午後のラウンドでの大混戦が予想された。

午前のラウンドを2アンダーと、好調なスタートを切った山本選手だったが、午後のラウンドでは、やや翳りが見え始め



優勝杯を手に喜びの中野選手

た。10番こそ、2打をピッチング・ウェッジで打って、ピン下2ド打につけて、これを入れてバーディをとったものの、次の11番ではボギー、さらに13番から15番まで3連続ボギーとして初優勝に赤信号が灯った。

山本選手はインのプレーについて、「やはりプレッシャーを感じましたね。とくに13番以後は水分不足のせいか、右足がつり気味で、スwing中の踏ん張りが効かなかった」と述べている。山本選手がこうした状況に至ったのも、優勝未経験者特有のプレッシャーに押しつぶされた結果といっていいかもしれない。結局山本選手の午後は41。大きく後退してしまった。



3アンダーを狙ったバットだったがショート。口惜しがる中野選手



吉田理事長（右）と2位タイの高橋選手



目録を持つ2位タイの山本選手

こうして山本選手が午後のラウンドでスコアを伸ばせないでいるうちに、午前中パープレーの37でまわって、虎視眈々と首位を狙っていた中野貞宜選手が、午後になって俄然、猛追を開始した。

2番ホールで、枝の下からの第2打をショットさせてボギーにしたものの、「3番では第3打をピン左1.2mに寄せてパーでイを射止め、6、7番でもピンを狙った的確なショットが見事に決まってパーでイ。3パーでイボギーの34で上がり、結局、高橋選手、山本選手に4ストロークの差をつけて逆転優勝を飾ってしまったのである。

午前中インを1オーバーの38で上がった高橋選手も大健闘だ。午後のラウンドでは、3番で7を叩くが、最終ホールの9番で、残り110ヤードの距離をカップの上、6mにつけ、難しい下りのパットだったが、これを見事に決めてパーでイ。結局、1オーバーの37、トータル75で、山本選手と2位を分け合った。

### 練習場よりラウンドで調整

70歳を過ぎると、体調の管理が難しい。昨年の優勝者小池政一選手（越生）は、ことしの1月に腎臓病を発症、10kgほどやせてしまった。最初のうちは、「出場を辞退しようかと思った」

（小池選手の話）が、周囲の人から「せっかくだから出た方がいいよ」といわれ出場した。しかし、病後で十分実力を出し切れず、106位と大きく後退した。だが、プレーを終わった小池選手の顔には「やってよかった」という達成感が満ち溢れていた。来年もまた活躍してくれるに違いない。

腰痛をかかえながら、見事に日本グランドシニア選手権出場の資格（上位21名）を得た小林正義選手も、1ラウンドを通じて腰をさすりながらのラウンドだ。だが実力のある選手だけに40、38トータル78（11位タイ）と、堂々たる70歳代だ。同選手は「だまし、だましのラウンドですよ」とコースとの戦いとともに、腰の痛みとも戦いながらのつらいゴルフだった。

多かれ少なかれ、グランドシニアともなると、体のどこかに弱点をもっている人が多い。こうした大試合に出るには、体調の調整が絶対の条件だが、これがなかなか難しい。練習やラウンドをやり過ぎると、筋肉や関節にすぐ影響が出る。そして腰、腕、肩の筋肉痛や関節症が発症する。



230ヤードを飛ばす80歳の長野和朗選手

かつて、関東シニア選手権で小川透選手が優勝したとき、体調管理の方法を聞いたが、小川選手は即座に、「過ぎた練習はシニアにはダメです。ラウンドしたときにショットの調整するくらいでちょうどいいのではないか」と答えてくれたことがあった。シニア以上のベテラン選手になれば、スイングも固まっているし、ラウンドだけで十分練習になりますよ」と答えてくれたことがあった。ドライビングレンジでの練習よりも、ラウンドでの実践練習をやり、筋肉や関節に過剰な負担をかけずに試合に臨むという方法である。

作家吉川英治氏は「無事これ名馬」という名言を残したが、グランドシニアの選手たちにもぴったりと当てはまる言葉であるのは確かだ。

### ■優勝者との一問一答

#### これから打つショットに集中

—優勝おめでとうございました。振り返ってみて、勝因はどこにあったと思いますか。

中野 個楽部対抗の選手になって、鍛えられたのがよかったです。お互いに切磋琢磨して、練習を重ねましたからね。それと指定練習日によくなくて、翌日アシスタント・プロに見てもらって、身体がうまく回っていないのを注意されたのがよかったです。

—どんな練習プランでやっているんですか。

中野 練習場へは週に1回、後はラウンドですね。練習であまりに数を打ちすぎると疲れてしまいますからね。どうしてもラウンド主体になってしまいます。

—ラウンド後半、優勝を意識していましたか。

中野 それほど意識はしませんでしたが、ただ知らず知らずのうちに緊張はしていましたね。

—緊張の中で自分の力を出せたわけですね。

中野 今まで緊張のために失敗したことがたくさんありましたからねえ。それらの経験から、いま、これから打つショットだけに集中して、ほかのことは考えないようにしていました。

—きょうは、ほかの人のスコアがどうなっているか気になりませんでしたか。

中野 ほかの人のスコアよりは自分のスコアを考える——これを教訓にしています。

—得意なクラブは何ですか。

中野 ドライバーです。平均飛距離は235ヤードくらいだと思います。そして次に好きなクラブはサンド・ウェッジです。

—最後にきょうの率直な感想をひとつ。

中野 ゴルフをやってきて、ほんとうによかったと思いました。仲間に感謝したい。

—ありがとうございました。

### 平成19年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年5月28日 ●開催倶楽部 霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コース 6,340ヤード パー73  
エントリー 125名/出場者 122名/欠場者 3名 主な成績（日本グランドシニア選手権出場有資格者）

順位	選手名	所属	アウト	イン	合計
1	中野 貞宜	東我孫子	34	37	71
2	高橋 久雄	東松山	37	38	75
2	山本 法光	G M G 八王子	34	41	75
4	上條 忠治	オリムピック	40	36	76
4	田口喜三郎	水戸	38	38	76
4	鈴木 正治	府中	34	42	76
7	林 吉男	日高	41	36	77
7	金本 浩明	横浜	39	38	77
7	山本 利次	真名瀬	38	39	77
7	山野辺邦夫	袖ヶ浦	37	40	77

順位	選手名	所属	アウト	イン	合計
11	富田 一幸	ロイヤルスター	40	38	78
11	小林 正義	東京五日市	40	38	78
11	小坂 孝二	八王子	40	38	78
11	傍島 輝雄	千葉	39	39	78
11	中村 清	水戸	37	41	78
11	伊藤 勲	八王子	37	41	78
17	関本 照文	朝霧ジャンボリー	41	38	79
17	橋立 守	霞ヶ台	41	38	79
17	二階堂勘二	サンククロス	40	39	79
17	角南 道弘	中山	40	39	79
17	平澤 角治	メイプルポイント	39	40	79

■平成19年度関東倶楽部対抗決勝競技

# プレッシャーをはねのけた チームワークの勝利

—東千葉チーム、下馬評通り3度目の優勝—

文／塩田 正 (KGA広報委員) 写真／伊室一義 (KGA広報副委員長)・塚越克一・増田 收 (KGA広報委員)



3度目の優勝を飾った東千葉チーム

## 危うし東千葉、十日町の大躍進

クラブハウス前のスコアボードの前に集った各倶楽部の選手や応援団が戦いが終わりに近づいて、なんとなくざわついていた。

だれもが東千葉カントリー倶楽部チームの圧倒的強さを予想していたのに、思わず伏兵が現われたからだ。その伏兵というのは、優勝候補にも挙げられていなかった十日町カントリークラブである。

十日町カントリークラブの選手たちが大健闘

を見せ、A・B両クラスとも各2人ずつ18ホールを終わったところで、最強の東千葉をリードしていたのである。それも思いがけない4ストロークという差だった。ボードの前から「東千葉だいじょうぶか」という声が上がっていたのも当然だった。

ちなみにA・B 6選手のうち、すでに18ホールを終えて、クラブハウスに上がっていた4人の個別のスコアを見てみると、まず東千葉のAクラス延田政弘選手が76、山田勧選手が73、Bクラスは豊島豊選手の68、角田浩選手が76、



健闘よく2位の座を占めた十日町チーム



3位の賞を受ける五日市チームの吉田キャプテン

4人の合計が293ストローク。これに対して十日町はAクラスの福原政文選手が70、須長順一選手が76、Bクラスは鈴木史敏選手が69、関忠顕選手が74、合計289ストロークで、これが前記4ストローク差の内容である。

東千葉と十日町の優勝をめぐる対決は、AクラスとBクラス各1人ずつの2対2の勝負を持ち込まれた。東千葉は金子航二選手(A)、室野歩選手(B)、十日町は小野塚司選手(A)、吉楽尚生選手(B)である。

3人目として上がってきたのは東千葉が室野

選手、十日町が小野塚選手で、室野選手が70、小野塚選手が72。その差は2ストロークに縮まった。

東千葉と十日町の選手、関係者は、金子航二選手と吉楽尚生選手の上がってくのを首を長くして待った。十日町はこの時点で2ストロークリードはしていたが、吉楽選手に一抹の不安をもっていた。吉楽選手がスタートホールの1番(399ヤード=パー4)で、彼の素晴らしい制球力からは考えられないような7を叩き、9番ホール(537ヤード=パー5)もボギーで、41を叩いていた



東千葉CCの駐車場に地区予選を勝ちあがった54チームの応援団のためのテント村が設営された。皆同じユニフォームを着て、選手の吉報を待ちわびる。常連の強豪チームはビール片手の余裕を見せるが、初参加のチームは緊張感が漂う。立科GCは予選3回目で決勝出場を決めた。総支配人の八木秀夫さんは「初見充宣プロがうちの所属プロになってから研修会ができて強くなりました。今回は初出場で皆少し上がっているみたいですが、ベストを尽くして

くればいいなと思っています」と語る。

予選2回目で決勝進出を決めたりバーサイドフェニックスCCの古宇田次男研修会副委員長は「1年半前に研修会を立ち上げたばかりですから、決勝に出られるのは夢のようです。研修会は40名以上が参加していますが、技術だけでなくルールやマナーまでしっかりと勉強します。教えるのも教わるのもメンバーだけの手作りチーム。そこが自慢なんです」と胸を張る。



風林火山のぼりも見えるテント風景

本條 強 (KGA広報参与)

からである。

### A・B、心を一つにした実力集団

十日町の選手や関係者の中には、9年前の悪夢が頭の中をよぎっていた。人間は自分が崖っぷちにあることがわかると、なんとなく悪いほうへ考えが向く傾向がある。十日町は9年前に5人が終わったところで首位に立つながら6人の選手が、スコアメイクに失敗して、一挙に6位に落ちてしまったという事があった。その人たちがこの悪夢を思い出し、勝敗のなりゆきを心配そうに見つめていたのである。

吉楽選手はアウトで失敗したが、インでは2ボギーだけの38というスコアで上がった。逆境に負けない堂々たる戦いぶりであった。

だが、東千葉の最終プレーヤー金子選手は「うちの若いBクラスは優秀な選手揃いで、Aクラスさえ頑張れば優勝できると信じていた。だからAクラスの一員である私が足を引っぱってはいけないと自分を鼓舞しながらプレーし、11番(556ヤード=パー5)では、気合いを入れて打った3打がピンに寄ってバーディ、そして15番(505ヤード=パー5)もバーディをとり、12番(160ヤード=パー3)でのボギーを帳消しにし、1アンダー35、アウトの37と合わせて72で上がった。十日町も



吉田理事長より賞杯を受ける東千葉の大蔵キャプテン。中央は山田チームキャプテン

### メダリストの言葉

本條 強(KGA広報参与)

#### Aクラス・メダリスト

松山信彦さん(セゴビア)  
スコア68。58歳



「アウトはショットもバットも好調で4アンダーの32で上がりました。ティーショットをスプーンにしたり、ロングホールを刻んだりと団体戦ならではの慎重なプレーが功を奏しました。しかし午後のインはこのまま行くことはないと覚悟してスタートしましたが、10番でいきなりボギーです。その後アイアンショットがショートしたりオーバーしたりと距離が合わなくなって苦労しました。なんとかアンダーで回ろうと思うのですが、心臓がバクバクして、バーを取るのが精一杯。でも15番のロングでバーディが取れて後半をイーブンで回れたのは自信になりました。セゴビアは初出場でしたが、12位と健闘できましたし、キャプテンとしての重責が果たせてホッとしたしました。いい一日でした」

最後まで頑張ったが、東千葉は室野選手と金子選手の追い込みが功を奏して、十日町を退けることができた。

金子選手は戦いが終わってから、「結果的にBクラスの若手選手に迷惑をかけないで済んだ。Aクラスも頑張った」と語った。

こうして東千葉は下馬評通り、3回目の優勝を飾ったが、山田勧チームキャプテンは、優勝の言葉として次のように語った。「たしかに優勝候補という声は、われわれの耳にも届いていました。ですが、うちの選手、とくにBクラスの若手選手組は日本アマ選手権や関東アマ選手権に出場する常連ばかりでしたから、どんなにプレッシャーがかかろうとも心配はしていました」

と若手の力を心から信頼した言葉が出る。その証拠に室野選手などは、インの16番(212ヤード=パー3)にきたとき、

#### Bクラス・メダリスト

豊島 豊さん(東千葉)  
スコア68。30歳



「優勝候補の筆頭といわれた東千葉の選手として恥ずかしくないプレーをしたいと思っていました。チームの中で最年少ですし、先鋒でもあるので、まず僕が勢いをつけたいと。そうしましたら、11番からポンポンと4つもバーディが来てくれて、気持ちに余裕ができました。ミスショットを犯してボギーもありましたが、後半もバーディが来てくれてスコアを伸ばせました。バットがしげれずに積極的に打てたのが良かったです。5年前から俱楽部対抗の選手として出場して僕個人としては2度目の優勝です。メダリストになれたことよりもチームの優勝が嬉しいですね。所属コースが決勝コースということもあって、応援してくださる方が多くて、とても勇気づけられました」

#### Bクラス・メダリスト

茅野弘喜さん(諏訪湖)  
スコア68。37歳



「東千葉CCは10年前に一度プレーしただけで、今回は練習ラウンドも仕事の都合でできなかったため、ぶつけ本番でした。同じ組に東千葉の室野歩さん、横浜の光山さんと上手な方がいらっしゃったので、離されないようにについていこうと頑張ったのが良い結果になりました。ここところショットが好調で、今回もいい感じでスイングできました。午前のアウトは37でしたが、午後は31。16番ホールではホールインワンとなりびっくりしました。220ヤードくらいだったのですが、クリークで打ったボールがピンの3m手前に落ちて2パウンドしてから転がって入りました。エースは人生2度目。決勝でもメダリストになれ、長野県の予選でもメダリストだったので、本当に嬉しいです」



刻々に入るスコアを見つめる選手、応援団

「ショートホールで一つもバーディを出していないから、このへんでホールインワンでも狙つてみるか」

と本気とも冗談ともつかないことをいいながらティーインググラウンドに上がっていった。いかにも試合馴れし、プレッシャーなどこれっぽちも見せていない様子がうかがわれる。

こうした強心臓の若手たちだったが、練習ではベテラン組も一緒にまわりながら決して負け

てはいなかった。大会終了後、Aクラスの選手たちは「うちには強い若手がいるから安心」と口を揃えていっていたが、実は本心では「若手組に負けたくない」という気持ちももっていたのだ。お互い同士が「負けたくない」と思って、それが一つの“集団”になったのだから弱いわけがない。

### 山田チームキャプテンの統率力



ホールインワンのボールをもつ茅野選手

もう一つ。東千葉の強さの秘密に強固なチームワークがある。東千葉という“実力集団”を形成したのは、山田チームキャプテンの勝れたリーダーシップによるものだという声が高い。



グリーン上の熱戦と偉容を誇るクラブハウス

Aクラスの延田選手は、「山田チームキャプテンは人をまとめるのが上手なんです。大会のときも和気あいあいの雰囲気を作りながら、それを緊張感に盛り上げていってしまうんです」

と、チームキャプテンの統率力の勝れている点を挙げる。つまり山田選手兼チームキャプテンを扇の“要”（かなめ）にして、練習を重ねてきた結果が、今日の強いチームを生んだと力説する。

そして若手組のリーダー役室野選手も同様に、「山田チームキャプテンを頭にして、チームワークの勝利だと思う」

ときっぱりと答える。また最年長金子選手も、「ほんとうにチーム内は仲良しなんです。若い人、ベテラン組といろいろな人がいますが、山田さんがうまくまとめています。だから練習でも、楽しい雰囲気が生まれるんです」

と、楽しみながらチームが一つになって練習している様子を語る。

さらに最年少の豊島選手は、「チーム内は山田キャプテンを中心にはんとに仲がよかったです。僕にとっては大先輩もいましたが、大変親切してくれて、リラックスして練習できました。それにマネジャーや選手以外の人も父親みたいに世話をしてくれたりして、心から感謝しております」

と、チームワークの輪をさらに広げて、練習

## 駐車場と朝食、二つの問題を解決

木川正昭（東千葉CC支那人）

当俱楽部の開催は、平成10年と今回で2回になります。引き受けたについては、いくつかの問題を頭に入れながら準備を進めてまいりました。前回42チームでしたが、今回は大きくふくらんで54チームになりました。

当俱楽部はクラブハウスの施設も恵まれており、多人数の対応には、不安はありませんでしたが、駐車場には台数に限りがあります。

そこでゴルフ場より7、8分のところにある東金文化会館の駐車場をお借りすることにし、ゴルフ場とこの駐車場の間はクラブバスとレンタルマイクロバス2台でピストン輸送することでなんとか解決を見ることができました。

もう一つの問題は朝食です。これは和食膳のみとし、540食分用意し、選手の皆さんに支障のないように準備し、こちらサイドとしても少人数で効率よく対応させて頂けたのではと思っております。

今回の開催は運営費の面はありましたが、当俱楽部関係者一同全力を尽くしたつもりであり、選手、関係者の皆さんに満足して頂けたら何よりと存じます。



環境を整えてくれた人、ギャラリーなど、東千葉挙げての“総合力”的勝利だと強調している。

関東俱楽部対抗では、これまでの優勝チームも、ほとんどが“チームワークの勝利”を勝因に挙げる。そしてその裏には卓越したリーダーシップの持主がいる。やはり11都県の予選プロックを勝ち抜いた強豪が集まる決勝競技では、A・Bとも強い選手を揃えていることが一つの条件に違いないが、東千葉の選手たちが声を揃えていうように優れたリーダーシップをもった統率者、さらに選手以外の関係者、応援団などの大きな輪のチームワークが優勝に導く大きな要因であったのは確かなようだ。

## 平成19年度 関東俱楽部対抗 決勝競技成績表

●開催日 6月25日(月) 開催俱楽部 東千葉カントリー倶楽部

Aクラス 西コース 6,598ヤード パー72

Bクラス 東コース 7,020ヤード パー72

1位 東千葉カントリー倶楽部  
スコア合計 435

氏名	合計	アウト	イン
A 延田 政弘	76	39	37
山田 勤	73	38	35
金子 航二	72	37	35
B 豊島 豊	68	34	34
角田 浩尋	76	39	37
室野 歩	70	36	34

(チーム平均ストローク = 72.50)

2位 十日町カントリークラブ  
スコア合計 440

氏名	合計	アウト	イン
A 福原 政文	70	38	32
須長 順一	76	38	38
小野塚 司	72	39	33
B 鈴木 史敏	69	36	33
関 忠顯	74	36	38
吉澤 尚生	79	41	38

(チーム平均ストローク = 73.33)

3位 東京五日市カントリー倶楽部  
スコア合計 451

氏名	合計	アウト	イン
A 有留 義武	76	39	37
富澤 良二	78	39	39
久田 寿男	76	39	37
B 和田 博	74	38	36
和田 雅英	74	38	36
澤田 信弘	73	34	39

(チーム平均ストローク = 75.17)

4位 水戸グリーンカントリークラブ  
スコア合計 452

氏名	合計	アウト	イン
A 大輪 広明	82	41	41
杉本 薫	70	34	36
白井 俊	79	40	39
B 木村 利治	70	35	35
中村 守	73	37	36
出山 泰弘	78	39	39

(チーム平均ストローク = 75.33)

5位 東名厚木カントリークラブ  
スコア合計 452

氏名	合計	アウト	イン
A 太田 正孝	76	36	40
大野 忠夫	77	39	38
藤森 深	74	39	35
B 池田 純	74	39	35
義澤 秀雄	74	39	35
露木 実	77	40	37

(チーム平均ストローク = 75.33)

6位 総武カントリークラブ  
スコア合計 452

氏名	合計	アウト	イン
A 上重 修	73	38	35
白井 敏夫	73	38	35
中川 利貞	73	37	36
B 杉山 稔	74	38	36
浮ヶ谷信夫	81	41	40
龜田 放吾	78	36	42

(チーム平均ストローク = 75.33)

7位 スプリングフィールズゴルフクラブ  
スコア合計 455

氏名	合計	アウト	イン
A 寺村 義美	76	39	37
三瓶 幸博	76	38	38
新谷 満	74	36	38
B 加藤 優廉	74	39	35
渡辺 幸根	75	39	36
高島 吉彦	80	40	40

(チーム平均ストローク = 75.83)

8位 新千葉カントリー倶楽部  
スコア合計 456

氏名	合計	アウト	イン
A 土屋 貞雄	77	40	37
桜井 延秋	75	39	36
浅井 一夫	77	40	37
B 今関 和宏	75	38	37
金岡 治久	76	37	39
伊藤 和久	76	40	36

(チーム平均ストローク = 76.00)

11位 伊豆にらやまカントリークラブ  
スコア合計 458

氏名	合計	アウト	イン
A 北原 弘	76	39	37
丹野 富壽	73	37	36
野上 直彦	76	40	36
B 下村 忠	78	38	40
山田 達	76	36	40
工藤 和彦	79	38	41

(チーム平均ストローク = 76.33)

12位 セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ  
スコア合計 459

氏名	合計	アウト	イン
A 松山 信彦	68	32	36
白井 誠	84	42	42
竹之内 康一	81	41	40
B 吉田 義美	79	40	39
村上 払也	74	37	37
吉田 謙一	73	36	37

(チーム平均ストローク = 76.50)

15位 扶桑カントリー倶楽部  
スコア合計 461

氏名	合計	アウト	イン
A 山下 勝紀	73	37	36
寺田 邑一	81	42	39
染谷 健市	76	37	39
B 加藤 浩	73	38	35
斎藤太津規	81	37	44
秋元 真以	77	38	39

(チーム平均ストローク = 76.83)

16位 下野カントリークラブ  
スコア合計 461

氏名	合計	アウト	イン
A 藤城 悠	79	38	41
古沢 章司	74	39	35
北山 芳	76	40	36
B 寺沢 洋	74	38	36
藤城 拓也	76	36	40
秋元 真以	82	45	37

(チーム平均ストローク = 76.83)

17位 リバーフォートカントリークラブ  
スコア合計 461

氏名	合計	アウト	イン


<tbl\_r cells="4" ix="2" maxcspan="1" maxrspan="1" usedcols="

27位 太田双葉カントリークラブ  
スコア合計 467

氏名	合計	アウト	イン
A 山田 耕市	80	42	38
木村 一男	73	37	36
原 富男	75	39	36
B 金井 正善	71	35	36
菊地 雄一	86	45	41
田村 伸光	82	45	37

(チーム平均ストローク=77.83)

28位 諏訪湖カントリークラブ  
スコア合計 468

氏名	合計	アウト	イン
A 高林 健吉	81	40	41
呉本 生福	76	40	36
大曾 公太	74	39	35
B 城田 健一	94	45	49
藤森 真一	75	37	38
茅野 弘喜	68	37	31

(チーム平均ストローク=78.00)

29位 鶴舞カントリー倶楽部  
スコア合計 468

氏名	合計	アウト	イン
A 阿部 逸朗	77	40	37
福島 耕治	80	42	38
吉原 実	78	41	37
B 會田 一	78	40	38
櫻本 刚之	80	40	40
吉田 法満	75	36	39

(チーム平均ストローク=78.00)

30位 横浜カントリークラブ  
スコア合計 469

氏名	合計	アウト	イン
A 島路 清恵	74	39	35
渡辺 稔	81	43	38
原 錠雄	80	43	37
B 遠山 武志	78	40	38
鈴木 淳一	80	40	40
光山 富夫	76	36	40

(チーム平均ストローク=78.17)

31位 フォレストカントリー倶楽部  
スコア合計 470

氏名	合計	アウト	イン
A 石井 清栄	78	40	38
高橋 正秋	75	37	38
白根 幸雄	80	41	39
B 松本 成光	79	38	41
松本 重光	78	39	39
高月 将基	80	39	41

(チーム平均ストローク=78.33)

35位 佐久平カントリークラブ  
スコア合計 474

氏名	合計	アウト	イン
A 加藤 薫	77	38	39
清水 久徴	76	37	39
掛川 隆司	81	41	40
B 柳澤 文彦	78	37	41
田中 孝幸	76	38	38
森泉 哲夫	86	39	43

(チーム平均ストローク=79.00)

39位 日本海カントリークラブ  
スコア合計 476

氏名	合計	アウト	イン
A 生居 優	80	39	41
五十嵐治雄	79	41	38
東城 雅夫	81	41	40
B 渡辺泰一郎	74	38	36
三母 英二	80	40	40
新村 黑平	82	40	42

(チーム平均ストローク=79.33)

43位 寄居カントリークラブ  
スコア合計 481

氏名	合計	アウト	イン
A 川上 秀男	81	39	42
矢島 秀世	86	46	40
兼松 忠	83	42	41
B 小野太佳司	78	41	37
田中 康	73	37	36
市川 良毅	80	40	40

(チーム平均ストローク=80.17)

47位 美里ゴルフ倶楽部  
スコア合計 483

氏名	合計	アウト	イン
A 小矢 佳夫	78	40	38
野口 光三	77	41	36
市野 孝一	81	37	44
B 佐々木功一	81	39	42
武富 肇範	82	41	41
堀内 泰宏	84	42	42

(チーム平均ストローク=80.50)

51位 甲府国際カントリークラブ  
スコア合計 488

氏名	合計	アウト	イン
A 岩波 雄	74	37	37
河野 覧	78	38	40
小沢 勝	85	41	44
B 天野 満夫	83	46	37
冬頭 勇宣	83	44	39
三枝 寛	85	46	39

(チーム平均ストローク=81.33)

27位 太田双葉カントリークラブ  
スコア合計 467

氏名	合計	アウト	イン
A 山田 耕市	80	42	38
木村 一男	73	37	36
原 富男	75	39	36
B 金井 正善	71	35	36
菊地 雄一	86	45	41
田村 伸光	82	45	37

(チーム平均ストローク=77.83)

28位 諏訪湖カントリークラブ  
スコア合計 468

氏名	合計	アウト	イン
A 高林 健吉	81	40	41
呉本 生福	76	40	36
大曾 公太	74	39	35
B 城田 健一	94	45	49
藤森 真一	75	37	38
茅野 弘喜	68	37	31

(チーム平均ストローク=78.00)

29位 鶴舞カントリー倶楽部  
スコア合計 468

氏名	合計	アウト	イン
A 阿部 逸朗	77	40	37
福島 耕治	80	42	38
吉原 実	78	41	37
B 會田 一	78	40	38
櫻本 刚之	80	40	40
吉田 法満	75	36	39

(チーム平均ストローク=78.00)

30位 横浜カントリークラブ  
スコア合計 469

氏名	合計	アウト	イン
A 島路 清恵	74	39	35
渡辺 稔	81	43	38
原 錠雄	80	43	37
B 遠山 武志	78	40	38
鈴木 淳一	80	40	40
光山 富夫	76	36	40

(チーム平均ストローク=78.17)

31位 フォレストカントリー倶楽部  
スコア合計 470

氏名	合計	アウト	イン
A 石井 清栄	78	40	38
高橋 正秋	75	37	38
白根 幸雄	80	41	39
B 松本 成光	79	38	41
松本 重光	78	39	39
高月 将基	80	39	43

(チーム平均ストローク=78.33)

32位 桜ゴルフ倶楽部  
スコア合計 471

氏名	合計</th
----	--------



練習グリーンせましとばかり、バッティング練習に励むジュニアたち。一球一球真剣に転がりを点検



8番ホールで生まれて初めてのホールインワンを達成した佐藤大裕君(右)。袖ヶ浦CC理事・競技委員長 鈴木軍治さんより記念品を受ける佐藤君

### 12歳~14歳の部

爽やかな風が吹いたこの大会で、まず中学生がプレーを終えて上がってきた。男女とも1日だけの競い合いだが、女子は箱田中3年の青木瀬令奈さんが優勝。スコアは73。女子は中学高校ともパー74だから1アンダーの素晴らしいプレーだ。152ヤードと小柄ながら240ヤードも飛ばす。前週のエビアンマスターズ・ジュニア大会で日本は団体優勝を成し得たが、彼女はその立役者でもある。

「エビアンマスターズでは個人の部でも初日

トップだったのですが、2日目に叩いて優勝を逃してしまって。とてもショックでしたが、今日は最後まで崩れずにいいプレーができたので満足しています。ドライバーは調子がよかったです。ただ前半に短いイーグルパットを外したのが悔しかったですね」

男子は西武中3年の今平周吾君がパー72のところを70で上がって優勝した。昨年に引き続き2連覇。162ヤードと彼もまた小柄だが、飛距離は260ヤードを越える。歯切れのいいスイングが持ち味だ。

「パー5の最終ホールでバーディが取れたのが



最終ホールでしっかりバットする女子12歳~14歳の部優勝の青木さん



▲女子15歳~17歳の部で優勝した齊藤さんの見事なフォーム

◀1番ホールでのブレーオフを制した齊藤さん(右)と仲宗根さん

大きかったです。第3打のアプローチが高い球でピンに50ヤード寄りました。このときにやったと思いました。2連覇できたのは本当に嬉しいですね」

ハンサムボーイがはにかんだ。

男子では新潟一中3年の佐藤大裕君が8番ホールでホールインワンを成し遂げた。

「先日の中越沖地震のときに柏崎のそばのコースでプレーしていたのですが、グリーンに乗っていたカップまで6桟のボールがぐらっと来て、カップに向かってころころと動きだし30ヤードまで寄ってバーディ。今日のホールインワンはその

とき以上の驚きです。168ヤードを6番アイアンで打つたら、ピンにガチャーンと当たってそのまま入ってしまいました。生まれて初めて。本当にびっくりしました」

### 15歳~17歳の部

さて15歳~17歳の部は2日間にわたって激戦が繰り広げられた。女子は松戸六実高3年の仲宗根澄香さんと厚木北高3年の齊藤愛璃さんのブレーオフとなった。仲宗根さんは初日72と2アンダーをマークしたが2日目は79。一方、齊藤さんは初日77だったが、2日目を74で上がった。



男子15歳～17歳の部で優勝を果たした大槻智春君の豪快なティーショット。「大きな大会で勝ったのは初めて」と大喜びだった



2日目最終組でまわった優勝者の大槻君(右端)と隣へ近藤孝宣君、黒宮幹仁君、百瀬力弥君



熱い戦が行われた袖ヶ浦コースの落ち着いた雰囲気のクラブハウス

プレーオフは1番ホールから行われたが、この日の調子がそのままこのホールにも現れて、斎藤さんは2オン2パットのパー、仲宗根さんは第2打でグリーンを僅かに外し、そのアプローチが寄らずにボギーとなってしまった。

「昨日叩いてしまったので、今日はベストを出すつもりで頑張りました。プレーオフは平常心でやれました。いいショットが打てたし、優勝できて本当に嬉しいです」

可愛い顔が笑顔でさらに愛らしくなった。

男子は鹿島学園3年の大槻智春君が初日に67を出し、2日目は72のパープレーに収めて、追

いすがる水城高の近藤孝宣君や黒宮幹仁君らを振り切って優勝した。

「昨日はリズムよく回れたのですが、今日はショットが曲がって苦しかったです。後半は風も強くなってパーインもなかなかできませんでしたが、寄せワンでパーを拾いまくりました。よく崩れずに粘れたなって。大きな大会で勝ったのは初めてなので嬉しいです」

ライバルに勝てたこと以上に自分に勝てたことに価値がある。勝ち方を覚えた大槻君が辣腕揃いの高校男子界のトップ勢に加わったことは間違いない。

## 平成19年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

### 男子15歳～17歳の部

- 開催日 平成19年8月1日(水)～2日(木)
- 開催会場 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース  
7,138ヤード パー72

エントリー 112名/出場者 111名/欠場者 1名  
主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	大槻 智春	鹿島学園(3)	67	72	139
2	矢代 直仁	千葉学芸(1)	73	70	143
2	岡田 勝麻	水城(3)	71	72	143
4	高田 聖斗	水城(1)	72	72	144
5	小平 智	駒場学園(3)	75	70	145
5	内藤 康	鹿島学園(1)	75	70	145
5	梅山 知宏	作新学院(1)	75	70	145
8	松本 直諭	佐野日大(3)	72	74	146
8	中村 貴至	鹿島学園(2)	71	75	146
10	伊澤 秀憲	日大高(1)	76	71	147
10	河辺 拓也	クラーク浜松(3)	73	74	147
10	百瀬 力弥	作新学院(3)	71	76	147
13	伊山 祐介	杉並学院(1)	74	74	148
13	近藤 孝宣	水城(3)	70	78	148
13	平出 肇大	駿台甲府(3)	72	76	148
16	佐藤 宇絵	堺玉平成(1)	77	72	149
16	櫻井 勝之	杉並学院(2)	77	72	149
16	塙見 好輝	堺玉栄(2)	76	73	149
16	松岡 利樹	前橋育英(3)	74	75	149
20	草柳 航	多古高(2)	79	71	150
20	大久保太朗	佐野日大(3)	75	75	150
20	高柳 大	関東学園大高(2)	75	75	150
20	黒宮 幹仁	水城(1)	71	79	150
24	大塚 智之	堺玉栄(2)	77	74	151
24	篠原 康太	星陵(2)	76	75	151
24	長井 淳平	堺玉栄(3)	76	75	151
24	保田 和貴	つくば開成高(1)	78	73	151
24	渡邊 悠太	堺玉栄(1)	76	75	151
29	松岡 啓	千葉日大一高(1)	77	75	152
29	渡邊 春希	作新学院(1)	77	75	152
29	小林 克也	堺玉栄(1)	74	78	152
29	尾崎 貴将	青山学院(2)	75	77	152
33	篠塚 翔太	堺玉栄(3)	79	74	153
33	渡邊 裕太	佐野日大(3)	74	79	153
35	河村 拓磨	鹿島学園(1)	78	76	154
35	中野 智章	日大一高(3)	77	77	154
35	橋本 貴文	駒場学園(2)	79	75	154
35	三木 龍馬	堺玉平成(2)	75	79	154
35	山野井賢祐	佐野日大(1)	78	76	154
35	高濱 朋弘	慶應義塾(3)	76	78	154
35	安藤 澄周	関東学院高(1)	76	78	154
35	半田 大統	佐野日大(2)	76	78	154
43	石井 魁人	堺玉栄(1)	78	77	155
43	藤沢 尚範	森村学園(1)	76	79	155
43	斎藤 芳成	駒込高(3)	77	78	155
43	小野田享也	クラーク浜松(1)	78	77	155

### 女子15歳～17歳の部

- 開催日 平成19年8月1日(水)～2日(木)
- 開催会場 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース  
6,418ヤード パー74

エントリー 15名/出場者 15名/欠場者 0名  
主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	斎藤 愛璃	厚木北(3)	77	74	151
2	仲宗根澄香	松戸六実高(1)	72	79	151
3	佐藤 千絵	日大高(1)	78	75	153
3	杉山沙羅紗	専大附(3)	74	79	153
5	山口 莉穂	堺玉栄(1)	77	77	154
6	大野 和樹	立正(2)	82	73	155
6	嶋田 江莉	杉並学院(1)	80	75	155
8	星野 文香	八海(3)	75	81	156
8	直井 梨瑛	市川高(2)	76	80	156
10	志賀 友香	堺玉栄(2)	75	82	157
11	吉野 茜	千葉日大一高(1)	79	79	158
12	野田ゆりか	JGAジュニア	80	80	160
13	杉岡千里奈	堺玉栄(1)	79	82	161
14	飯塚 奈緒	敬愛学園(3)	81	87	168
15	増田美々子	佐野日大(3)	87	86	173

### 男子12歳～14歳の部

- 開催日 平成19年8月2日(木)
- 開催会場 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース  
6,663ヤード パー72

エントリー 38名/出場者 37名/欠場者 1名  
主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	今平 周吾	西武中(3)	35	35	70
2	中里光之介	杉並学院中(3)	35	36	71
2	赤座 亮	蘿崎西中(3)	33	38	71
4	佐藤 大裕	新潟一中(3)	37	36	73
4	柘植野 徹	東鶴居中(3)	37	36	73
4	水石 球哉	松田中(3)	36	37	73
7	須藤 裕太	山梨南中(3)	38	36	74
7	落合 卓	三尻中(2)	38	36	74
7	佐藤 有生	杉並学院中(3)	38	36	74

### 女子12歳～14歳の部

- 開催日 平成19年8月2日(木)
- 開催会場 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース  
6,418ヤード パー74

エントリー 19名/出場者 19名/欠場者 0名  
主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	青木瀬令奈	箱田中(3)	36	37	73
2	野村 敏京	ソウル明知中(3)	40	38	78
2	鈴木 沙季	高松中(3)	40	38	78
2	眞尾 万里	児玉中(3)	38	40	78
5	佐藤 彩	強戸中(2)	40	39	79
5	布川千帆里	桜台中(2)	38	41	79
7	木戸 侑来	横須賀学院中(2)	42	38	80

■平成19年度 第19回KGAジュニアゴルフ大会(茨城ゴルフ倶楽部)



### 茨城ゴルフ倶楽部

西コース  
18ホール・ストロークプレー  
5,359ヤード パー72  
天候 晴天  
写真／塚越克一(KGA広報委員)

表彰式風景、みんな起立して拍手を送る



バッグを担いだり、トロリーで引いたり小さな選手たちは第2打地点へ。スコアラーの父兄も後を追う

平成19年度第19回KGAジュニアゴルフ大会は、8月6日に茨城ゴルフ倶楽部・西コースで開催された。JGAジュニア会員の小学校高学年(4年・5年・6年生)の男女が参加対象者で、男子77名、女子54名のジュニア達が猛暑の中元気いっぱいに熱戦を繰り広げた。

この大会は平成7年より競技形式で開催しており、延べ19回の開催となった。今回JGAが初めて主催する「2007年度(第1回)全国小学生ゴルフ大会」の選手を選抜する大会となつたため、

ジュニア達は一層張り切って大会に臨んだ。

KGAでは、中学生、高校生から公式戦競技として「関東ジュニアゴルフ選手権」が開催されるが、このジュニアゴルフ大会はあくまでも公式戦の前に、競技ゴルフを体験し、ルール、マナーを勉強する機会を作る目的で開催している。「スコアにこだわらずのびのびプレーをしてほしい」と、大鷲ジュニア育成委員長は語っている。

だが、男子の榎原一摩君は64ストロークとい



### 男子

- 優勝** 榎原一摩君 (写真中央)  
阿見町立実穀小6年 64ストローク  
**2位** 姜秀一君 (写真右)  
富里市立日吉台小6年 66ストローク  
**3位** 奥村涼君 (写真左)  
松戸市立大橋小6年 69ストローク



### 女子

- 優勝** 塩屋恵さん (写真中央)  
搜真小5年 69ストローク  
**2位タイ** 西村美希さん (写真左)  
墨田区立田沼小6年 72ストローク  
**2位タイ** 保坂真由さん (写真右)  
北本市立東小6年 72ストローク

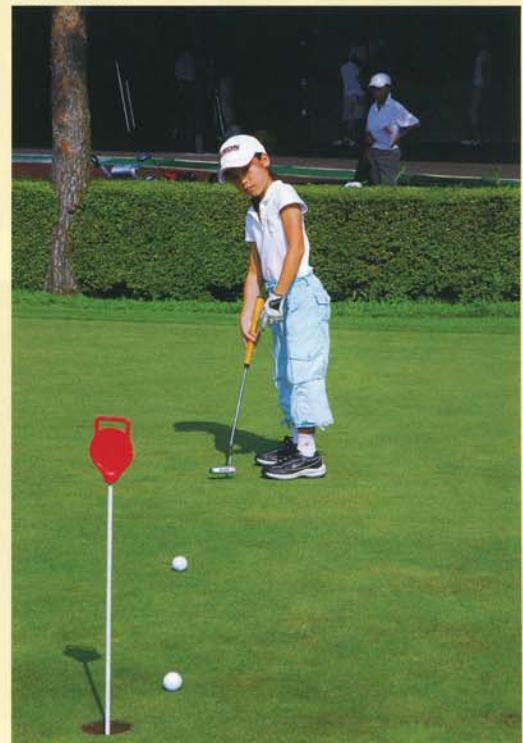


お姉ちゃんと一緒にきたが待ちくたびれて砂遊び

う見事なスコアをマークし、大会レコードで優勝した。女子の優勝者塩屋恵さんは70を切る69ストローク。春のジュニア大会(若洲ゴルフリンクス)でも68ストロークで優勝している。ヤーデージは短くしているが、クラブの本数を10本と制限もしており、皆すばらしい実力を持っている。

この結果、「2007年度(第1回)全国小学生ゴルフ大会」に出場するジュニア達は、男子14名と女子11名が選ばれた。

短いバターを手にスタート前のパッティング練習。  
抜群の距離感



女子優勝塩屋さんのフォーム。  
柔らかい身体できれいに打ち抜く

身体を柔らかく使った大きなフォロースルー。4位と健闘した岡田さん

柔軟なティーショットのフォーム。  
篠くんはまだ小学校4年生

スコアカードの提出所、真剣な目のジュニアたち



スタート前、目土袋に目砂を一杯詰め込んで



暑さもスコアも忘れる楽しい食事のひととき

# 1都10県の 特別対談

## ユニークな競技運営で参加者を増やす群馬県

加盟倶楽部の活動状況を聞く  
第8回 群馬県



関東ゴルフ連盟常務理事 相澤 伸幸氏

インタビュー／高橋正孝(KGA広報委員長)

カット／山縣和彦



相澤伸幸氏

高橋 本日はお忙しいところ、ありがとうございます。今日は群馬県のゴルフ事情をいろいろとお聞かせ願えればと思っております。それと、KGAの発展につながる、ご意見、ご要望もいただければと思います。

よろしくお願ひいたします。

相澤 こちらこそ、どうぞよろしくお願ひいたします。

高橋 さっそくですが、群馬県のKGA加盟倶楽部数は？

相澤 現在、43倶楽部です。

高橋 ゴルフ場の総数はどれくらいでしょうか？

相澤 79、ですね。群馬県の税務課の登録では85、6と聞いていますが、これには9ホールのコースや、栃木県との県境にあって、敷地の9割が栃木県、1割が群馬県の城山カントリーなどもカウントされています。18ホール以上のゴルフ場は79コース、ということになるかと思います。

高橋 ひと口には言えないと思いますが、群馬県のゴルフ場にはどういった特徴があるのでし

ょうか。

相澤 群馬県は大きく4つの地域に分かれます。軽井沢や水上高原のある「北毛」、前橋を中心とした「中毛」、藤岡から下仁田までの「西毛」、そして太田、伊勢崎、館林などの「東毛」です。このうち、明確な特徴があるのは「北毛」で、ここには他と比較して海拔も高くリゾートコースが多くあります。

高橋 なるほど。それで、県内ゴルフ場の総入場者数はだいたいどれくらいになるのでしょうか？

相澤 県の税務課が発表していないものですから、正確にはわからないんですね。ただ、私ほうとしてもいろんな方針を立てるうえで必要な数字ですから、調べてみました。当然概数ではありますが、最近の3年間では、平成17年が287万人、その前年の16年が267万人、15年が281万人という数になっています。ただし、これは利用税をもとにしたデータなので、非課税の利用者の数はカウントされていません。

高橋 非課税の利用者はどれくらいの数になるのでしょうか？

相澤 私どものゴルフ場や周囲の2~3コースの数字をもとに類推しますと、県全体では15~20万人になると思います。

高橋 すると、17年は300万人を超えたことになりますね。

相澤 そうなります。



高橋 それと、先ほどの入場者数の推移を見ると、3年前が底だったということになるでしょう？

相澤 そのようです。県全体で調べたわけではありませんが、周辺のいくつかのゴルフ場に話を聞くと、昨年、平成18年も前年より増加しているようですから、3年前に底を打ったと思われます。

高橋 いい傾向ですね。なんとか、この調子で回復してもらいたいものですが。

相澤ええ。ただし客単価を比べますと、前より下がっているところもあるんです。

高橋 そうなんですか？

相澤 要因としては、グリーンフィーの値引きがないまま続いていることもあります、それよりもセルフプレーが増えていることも大きな要因だと思います。

高橋 セルフプレーが増えているというのは、背景にキャディーが集まらないという原因があるのでしょうか。

相澤 確かに西毛地区では、最近巨大なスーパーができ、そこが若い女性従業員を大量に募集したため、キャディーの人材の確保が難しくなったという話を聞きました。しかし、ほとんどはお客様からの希望です。より安い料金でラウンドしたいというニーズからのセルフ化といえ

ます。

高橋 なるほど。そのニーズは今後も続くのでしょうか？

相澤 そうだと思います。群馬県の標準的なゴルフ場のプレーフィーは、土日で1万2,000円位、平日で1万5,000円～1万6,000円位といったところです。お客様のこの予算に比べると、3,000円～3,500円のキャディーフィーは大きなウェートです。特に所得が少ない若いゴルファーのセルフ希望は、なかなか変わらないでしょうね。

高橋 確かにその予算額では、より安いセルフを選択するのはしょうがないですね。

相澤 群馬県では、多くのゴルフ場がセルフ化のために、電磁誘導の乗用カートを導入しています。

高橋 ところで、県内客と県外客の比率は、どの程度なんですか？

相澤 これもアバウトな感覚での数字になりますが、例えば私どもの東毛地区では県内客が5割から、ゴルフ場によっては7割といったところでしょうか。地元客が中心です。反対に、西毛地区では県外客が5割以上。ところによって



は7割を占めるコースもあるようです。これは、高速道路網、アクセスによるものでしょうね。

高橋 なるほど、同じ群馬県でも地域によってかなり違うわけですね。

### ●群馬県のゴルフ関連団体

高橋 では次に、ゴルフ関連団体とその活動についてうかがいたいのですが……。KGAとしては、各都県の関連団体をまとめる、もしくは緊密な関係になるよう、そうした主旨の活動には助成金を出しているのですが、群馬県の場合はいかがでしょうか？

相澤 その点はいろいろと事情がありまして、なかなか一緒になるというのは難しい状況です。現在、県内には群馬県ゴルフ協会、その下部組織になる支配人会、アマチュアゴルファーの団体である群馬県ゴルフ連盟、ゴルフ練習場連盟、群馬県プロゴルフ会といった関連団体に加え、地元の上毛新聞社が競技会などゴルフ事業を行っており、ゴルフ関連の組織ということになっています。

高橋 ゴルフ場の団体として「ゴルフ協会」があり、ゴルファーの団体として「連盟」があるわけですが、この「連盟」というのは県の体協につながっているんですね。

相澤 ええ、そうです。以上の団体が、5～6年前に一度、各2～3人が集まって会合を開いたことがあります。しかし、全団体が集まる会合はそれっきりです。

高橋 何か問題でも？

相澤 いえ、そういうことではありません。定期的に集まる必要はないだろうという判断で。ただ、それをきっかけに交流が生まれ、必要なときには協力し合う体制になっています。例えば、それぞれの主催競技を後援するとか、協力・協賛するとか。また、他団体の競技会に出場者を斡旋、紹介することも。

高橋 バラバラといふわけではないと。

相澤 それで、いざなはまた全団体の交流の場を持つと、実は協会と連盟の間で調整を始めたところです。ですので、近々にそうした会合があるかもしれません。

高橋 それはいい動きですね。

### ●ジュニアに対する振興

高橋 では次に、ゴルフの普及やゴルファー育成のための活動についてお聞きしたいのですが、まず最初に、ジュニアについてはどのような状況ですか？

相澤 ジュニアの振興活動はたくさん行われています。まず、連盟がジュニアゴルフ選手権を実施しています。それから、プロゴルフ会が独自にクリニックを月1回のペースで主催しています。そちらへは、私ども協会とKGAからの助成金を提供しています。また、協会ではこれはKGAの後援もいただいていますがジュニアゴルフ・レッスン＆競技大会というイベントを年2回、春休みと夏休みの期間に行っています。ちなみに、連盟の競技会は当然、スクラッチですが、協会のほうは多くのジュニアに優勝のチャンスを与え、またできるだけ多くの子どもに参加してもらいたいということで、競技の表彰は新ペリアで行っています。

高橋 新ペリアですか。

相澤 ええ。でもこれが好評で、昨年の実績ですが、春休みには競技会に160名、レッスン会



高橋 KGA 広報委員長



に73名が参加。夏休みは、少し減って競技会に135名、レッスン会に40名の参加がありました。

**高橋** 夏休み期間は全国規模で様々な競技会やクリニック、ゴルフ合宿などが実施されますから、どうしても参加人数は減りますね。

**相澤** 他には、練習場連盟でもジュニアレッスン会を実施しています。

**高橋** 最近は全国的に小学生のビギナーの参加が増えてきましたが、それは群馬県も同じでしょうか？

**相澤** そうですね。実は、そのために参加者はある程度上達したジュニアに制限しては？ という声もあります。しかし、協会の活動目的は競技ゴルフの強化ではなく、ゴルフの普及が目的ですから、こうした絞込みはやらないつもりです。可能な限り「来るものは拒まず」でやろうと思っています。

**高橋** もともと底辺を広げるのが目的ですからね。

**相澤** 県とは別ですが、私のいる太田市では「太田市スポーツ振興事業団」を設立しまして、そこで野球やテニス、サッカーやゴルフなどのスポーツ少年を育成する活動を行っています。ゴルフのクラス80名くらいが登録、月2回、市内

の練習場でレッスンを実施しています。そこでは、連盟の役員さんが教えています。

**高橋** 小学生時代に覚えたスポーツは大人になっても忘れませんから、子どもへの普及は必ず将来につながるでしょうね。

**相澤** そうですね。そのスポーツ振興事業団では習う競技を野球からゴルフへ、反対にゴルフから野球へと、途中で移る子どももおりますが、子どもの頃はいろんなスポーツをやっていいんだと思います。自分が好きな競技がいろいろ選べる環境がいいんですね。

### ●レディースの状況

**高橋** 次に女性へのゴルフの普及についてですが、まずゴルファーの中に占める女性の割合はどれくらいになりますか。

**相澤** うーん、正確な数字は掴んでおりませんが……。

**高橋** 例えば、埼玉県や神奈川県では、平均すれば12、3%程度だと思います。

**相澤** 群馬県はそれよりもちょっと多いのではないかでしょうか。私の感覚ですと、15%前後はあるかと。

**高橋** 他県より女性の割合が高いのは、昔から？ 伝統的に多いんでしょうか。

**相澤** それはどうなんでしょう。やはり、このところの女性への普及活動の成果のような気がしますが。

**高橋** より女性ゴルファーを増やそうというお考えは？

**相澤** 引き続き、増やしていくみたいと考えています。しかし、どうしても女性ゴルファーは男性よりもレジャー志向のゴルファーが目立ちますね。

**高橋** それは仕方ないでしょうね。女性ゴルファーは、年齢的にはどんな傾向が？

**相澤** ラウンドの回数が多いのは、やはり年配



の方ですね。全般に20代、30代の回数はそれより少ない。ただし、最近は女子ジュニアが盛んになってきましたので、将来は女子の競技ゴルファーが増えていくかもしれません。そうなれば、女子のプレー回数も全般的に増えるでしょうね。

**高橋** 女子の競技には、どのような大会がありますか？

**相澤** KGAでは現在検討されているそうですが、女子の倶楽部対抗は、群馬県では既に行っています。

**高橋** あっ、そうでしたか。

**相澤** 昨年11回大会を関越ハイランドで行いました、45チームが参加しました。

**高橋** 大変な数ですね。

**相澤** ええ。競技は1チーム4選手で、上位3選手の合計スコアで競うのですが、成績は新ペリ亞方式で算出しております。これも、なるべく多くのチームに優勝の可能性があって、多くの倶楽部が参加するように、とのことからです。

**高橋** まずは参加してもらおうと。

**相澤** ただし、最近は本格的に競技ゴルフに取

り組んでいるジュニアが、競技経験を積みたいということなのでしょう、この倶楽部対抗にも出場するようになりました。すると、スクランチで競う個人戦はだいたいそうしたジュニアが上位を占めるようになります。今後、検討課題になるかもしれません。

**高橋** なるほど。普及が進めば、競技会には腕前も、競技志向も多様な選手が集まるのは仕方ないのでしょうね。だからといって、出場者を絞り込めば、普及につながりませんし、難しい問題ですね。今後さらに参加者が増えたら、倶楽部対抗戦もスクランチの部と新ペリ亞の部を分けるとか、工夫が必要かもしれませんね。ところで、その倶楽部対抗にはどれくらいの参加人数が？

**相澤** 毎年、200名近くになります。大きなイベントですから大会スポンサーも募って、賞品等を提供してもらっています。

**高橋** それにしても、よく集まりますね。

**相澤** 群馬県に限ったことではありませんが、開催コースの場所によっては参加者の負担が大きくなります。そこで、参加費は各倶楽部が負担し、プレーフィーはメンバー扱いとして、プレーヤーにはあまり負担がかからないように配慮しています。その効果もあるのかも。

**高橋** メンバーフィですか。確かに、民間主催の倶楽部対抗戦のなかには、選手の参加費負担が大きくて大変という大会もありますね。

**相澤** そうですか。

**高橋** 実は、そのためにKGA主催のレディースの倶楽部対抗はできないかという声が挙がっているんです。KGA主催ですと、群馬県同様、メンバーフィでプレーしてもらうことが可能ですから。

**相澤** それと参加倶楽部が多いのは群馬県に沢山あるパブリックコースからも倶楽部対抗戦に出場出来るからだと思います。出場選手はメン

バーでなくても、支配人さんの推薦により、コースの代表ということで出場できることになります。

高橋 そのほか、女子の競技は？

相澤 他の主だった競技としては、連盟主催のレディース選手権、女子の知事杯と県アマといったところですね。ただし、最近、女子のスクランチ競技は参加者が徐々に細ってきているような気がします。

高橋 そうですか。男子は増えつつあるのに…。増加してきたジュニアからの広がりが期待されますね。

### ●KGAへの参加意識

高橋 ところで、群馬県のゴルフ場としてKGAにはいろんなご意見、ご要望がおありだと思います。そのあたりを、ざっくばらんにおっしゃっていただければ。

相澤 そうおっしゃっていただいたので……。地方のゴルフ場はJGAに対してはもちろんですが、KGAにも参加意識が持ちにくくいというのが、正直なところかと思います。

高橋 そうでしょうね。

相澤 例えば、KGAの競技の会場は、直接KGAが選定しておりますので、ゴルフ場にとってはいわゆる“一本釣り”をされた格好で、他のコースは“蚊帳の外”です。その分、県の倶楽部対抗とアンダーハンディ競技は、こちらで選定できますので、私どもとしてはどのゴルフ場にも関心を持ってもらえるよう、公平に、持ち回りで選んでおります。難しい課題があるのでしあが、地方のゴルフ場も参加意識を持てる運営を考えていきたいですね。

高橋 なるほど、そうですね。倶楽部対抗の話が出たところで、その話をうかがいたいのですが、群馬県の倶楽部対抗はどれくらいの参加が？

相澤 昨年度は27倶楽部でした。

高橋 今後、参加倶楽部は増えそうですか？

相澤 まだ増えると思います。できれば、2カ所で予選会を開けるくらいにまで増やしたいと思っています。

高橋 30倶楽部以上になれば、2カ所での予選会を実施できるでしょうね。もうひとつ、アンダーハンディ競技のほうはいかがですか？昨年はKGAの競技委員会のほうから、各大会100人以上の参加を目標に参加を呼びかけましょう、といった要望を送りましたが……。

相澤 その100人は一応達成しましたし、年々参加人数は増えております。

高橋 そうですか。

相澤 ちなみに、平成14年が25名、翌15年が50名、16年63名、17年74名、そして昨年が104名と着実に増えています。

高橋 順調のようですね。

相澤 ええ。開催コースが中心となって、30～40名ほど集めてくださっていますので、今後もこの程度の規模にはなると思います。半面、開催コースにそれだけ頼っておりませんので、開催コースの努力に支えられているということですから、限界もありますね。

高橋 どの県も似たような事情があるようですね。

相澤 しかも、最近は開催を希望するゴルフ場がなかなかないんです。

高橋 それはどうして？

相澤 毎年、各倶楽部でアンダーハンディ大会への参加を呼びかけていますが、その応募が少ないところは、自分のところでやってもしょうがないか、と感じられるのでしょうか。

高橋 なるほど。

相澤 それでも意欲のある支配人さんなり、理事さんがいる倶楽部がやって下さっているところです。

高橋 さらに発展させる、何かいい手立てはある

りませんでしょうかね。

相澤 そうですね。基本的に、各倶楽部で、この大会の普及がゴルフの普及にもつながるという意識を持ってもらうか。それでなければ、競技方法を大胆に工夫して、もっとゴルファーに参加してもらえるようなことを考えるか、でしょうね。

高橋 KGAでは、最近、ホームページの充実を図っているのですが、そのホームページなどで大会の魅力をもっと広報しなければなりませんかね。

相澤 それもいいかと思います。群馬県の場合は、決勝大会の会場を、いわゆる名の通った倶楽部にして、しかもメンバーフィーでプレーできることをウリにしていたのですが、それだけでは限界がありますね。

高橋 例えば、全日本大会を設けるというのは？

相澤 それは大きな魅力になりますね。是非、やっていただければ……。

高橋 JGAも企画はしているようですが、まだアンダーハンディ競技の実施が全国的ではないようなので……。

### ●KGAの競技委員派遣

高橋 他にKGAに対するご要望はございませんか？

相澤 さきほども話に出ましたが、群馬県内でもゴルフの振興を目的とした団体がいくつもあります。この統合とか、整理をKGAあたりが旗振りになって進めていただくと。

高橋 確かに、同じような内容のイベントを各団体が別々に行うというのは、資源の無駄づかいですからね。

相澤 今は協力し合っているといつても、各団体のイベントの日程が重ならないように調整するとか、その程度ですからね。それと、これは是非お願いしたいのですが、例えば関東アマの

地区予選などには、KGAから多くの競技委員さんが会場にいらっしゃいます。しかし、その数が多すぎます。そのため、会場の倶楽部も競技委員を用意したにもかかわらず、実際には待機するだけ、ということが多いんです。ですので、地区大会ではKGAからは競技委員長と副委員長程度の派遣にとどめ、あとは倶楽部の競技委員に任せるようにしてもらったほうが…。

高橋 なるほど。それは、そうしたほうがいいかも知れませんね。

相澤 倶楽部の競技委員はせっかく出てきてもやることがなくて……、という姿をよく目にします。実際、競技委員をさせてもらえば、プライドを持ってもらえますし。

高橋 そうでしょうね。

相澤 また、KGAへの参加意識を持つことにもなりますから。

高橋 それに、こちらの経費削減という効果もありますしね……。ゴルフの団体は、基本的に力があると思うんですよ。人材もありますし、資金的にも大きな活動ができるという。ですから、その力が一つにまとまって、普及・振興に当たれるようになればと思いますね。

相澤 そうですね。それは、今後の私どものテーマでしょうね。

高橋 本日はこんなところで、どうもありがとうございました。今後ともKGAの拡大、発展にもご配慮いただければと思っております。

相澤 そのためにも、地方の倶楽部とKGAが直接触れ合う機会をもっと作ってもらいたいですね。KGAの考えを、我々が倶楽部の集まりで間接的に語っても、どうしても話が素通りになりがちなんです。

高橋 わかりました。今後は、そういう機会を積極的に作りたいと思います。その折には、どうぞよろしくお願ひいたします。

# KGA主催競技の ハンディキャップ 制限について

平成20年度より、KGA主催競技の出場資格のハンディキャップ制限が変わり、「J-sys」(ジェイシス)で取得したJGAハンディキャップが必要になります。

モバイルJ-sysなら、  
<http://www.hdcp.jp/mobile/>

関東ゴルフ連盟

## 競技

平成20年1月より、KGA主催競技(俱楽部対抗を除く)に出場するには、競技出場申込時点で

- 1)申込俱楽部が「J-sys」を採用し
- 2)「J-sys」で計算された“JGAハンディキャップ”を取得し
- 3)各競技のJGAハンディキャップ制限をクリアすることが条件となります。

従来の俱楽部で計算された「JGAハンディキャップ」では出場が認められませんのでご注意下さい。

平成20年度各競技の詳細は、KGAホームページにて発表いたします。

KGAホームページ

<http://www.kga.gr.jp>

## JGAハンディキャップ査定システム「J-sys」…

JGAハンディキャップをより身近なものにするため、平成19年8月1日より「モバイル J-sys」(携帯電話を利用したJGAハンディキャップサービス)の機能を新規に追加しました。

詳しい操作方法は右ページをご覧下さい。▶

また、同時に「J-sys」の運用方法も大幅に変更いたしましたので、詳細はKGAホームページでご確認下さい。



# モバイル J-sysは 簡単! 便利!

アクセスに必要な **ID** と **パスワード** は  
あなたの「査定俱楽部」にお問い合わせください。

## 操作方法

### 手順 1

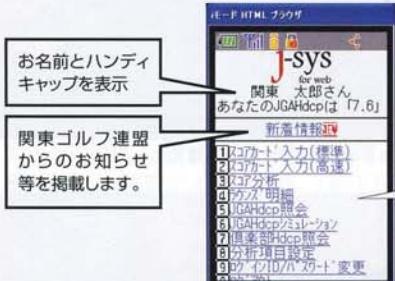
携帯電話で  
<http://www.hdcp.jp/mobile/>  
にアクセス

### 手順 2

ログイン画面で  
**ID** と **パスワード** を  
入力し **ログイン** をクリック

### 手順 3

「お名前」「ハンディキャップ」「メニュー」を表示



- ①ホール単位でスコア、バット数、OB数等の詳細情報を入力します。入力後は自己のスコア分析へ反映されます。
- ②ホールbyホールのみの入力が出来ます。但し、2桁以上のスコアは入力出来ません。
- ③入力済みのスコア情報よりベスト・ワーストスコアやスコア、バット数、パーティ等の統計情報を検索出来ます。
- ④JGAHdcpの10ラウンド明細が確認出来ます。また、プレーの詳細条件やホールbyホールも確認出来ます。

⑤JGAHdcpの査定日、数値、最新計算日、計算Hdcp、過去最高Hdcp等が確認出来ます。また、過去の査定履歴も照会します。

⑥現在のJGAHdcp情報に対し、プレー俱楽部と目標スコアを入力することにより自己のJGAHdcpをシミュレートすることができます。

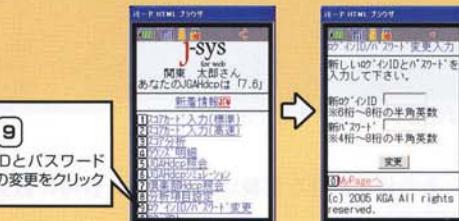
⑦査定俱楽部、所属俱楽部の俱楽部Hdcpを照会します。

⑧スコア分析を行う場合に分析する項目を設定します。

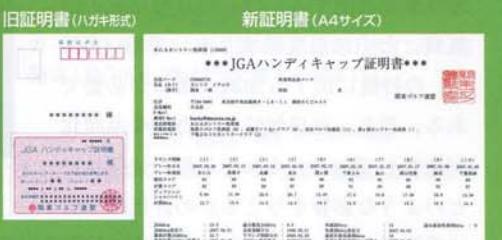
⑨登録会員自身でログインID、パスワードの変更が出来ます。

## IDとパスワードの変更

※お好きなIDとパスワードに変更ができます。



## JGAハンディキャップ証明書が新しくなりました



関東ゴルフ連盟



熱心に講師の話に耳を傾ける受講参加者たち

## ■平成19年度第54回 グリーン研究講習会 異常気象関連で 熱心な討議

### ■講師

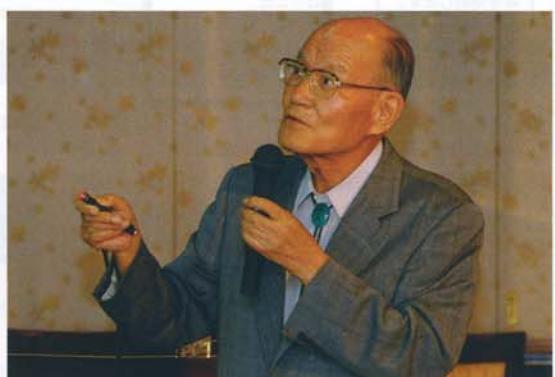
宮澤清治氏：理学博士 元気象庁天気相談所所長 元NHK気象キャスター

内嶋善兵衛氏：お茶の水女子大学名誉教授

文／塩田 正（KGAG報委員）  
写真／舟橋一芳（KGAG報委員）  
片山晴美（KGAG報委員）



具体的に異常気象を挙げて説明する宮澤先生



「温暖化は北上している」と図で示す内嶋先生

関東ゴルフ連盟グリーン委員会（平山誠一委員長）主催の平成19年度第54回グリーン研究講習会は、7月5日（木）、東京・銀座の銀座東武ホテルで開催された。講師には“気象”的権威・宮澤清治先生、お茶の水女子大学名誉教授内嶋善兵衛先生のお2人を招いて13時～17時まで熱心な研究討議がなされた。

宮澤先生は「気象現象のもつ自然の揺らぎに地球温暖化が重なって異常なほど高い気温や記録破りの豪雨、竜巻などの「極端な現象」が起こりやすくなっている。2006年～2007年にかけての主な異常気象と芝草管理について」の講義があった。

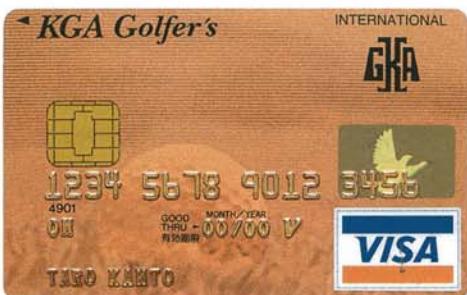
ついで内嶋先生からは「必要な芝草管理作業を展開するには、短草型草原の微気候、とくに温度環境と水分環境（蒸発散）の特徴に関する知識、情報が必要である。現在、地球気候の人為的な温暖化が進行している。それが草原の微気候にどのような影響を与えるかの評価は非常に重要である」と、草原の微気候の特徴を温度資源と水資源との両面から説明があった。

その後、活発な質疑応答があり、17時に散会した。

## KGA Golfer's card



KGA Golfer's card は通常のカード機能に加え、ゴルファーの皆様に数々の特典を提供させていただきます。カードは ①KGA Golfer's GOLD カード（年会費10,500円（税込））  
②KGA Golfer's カード（年会費3,150円（税込））の2種類よりお選びいただけます。



### 保険サービス

#### ① ゴルファー保険

- ホールインワン・アルバトロス費用
- 第三者に対する賠償責任
- 傷害
- ゴルフ用品の損害

KGAGolfer's GOLDカード	KGAGolfer's カード
ホールインワン・アルバトロス費用	50万円
第三者に対する賠償責任	1億円
傷害	500万円
死亡、後遺障害保険金額	300万円
入院保険日額（180日限度）	7,500円
通院保険日額（90日限度）	4,500円
ゴルフ用品の損害	5,000円
	3,000円
	20万円
	10万円

#### ② 国内・海外旅行傷害保険

旅行や出張の都度、旅行傷害保険に入る手間も出費も不要。※KGA Golfer's GOLD カード

#### ③ ショッピング保険

カードでご購入された日から180日間、商品の破損・火災・盗難による損害を、1品1万円から最高100万円まで補償します。

※KGA Golfer's GOLD カード



### その他の特典

- JGAハンディキャップ取得（オプション）
  - ・関東ゴルフ連盟発行のJGAハンディキャップが取得できます。（年会費2,100円（税込））
  - ・関東ゴルフ連盟主催の特定競技に出場できます。
- ETCカード（年会費永年無料）
  - ・ETC専用カードを無料で発行します。
- ロードサービス
  - ・24時間対応いたします。※KGA Golfer's GOLD カード
- ポイントサービス
  - ・カードご利用 1,000円（税込）につき1ポイント、商品は190ポイントから交換できます。

カードは から選べます

サービス内容はKGAホームページをご確認いただけます

### お問い合わせ先

OMCサービスセンター 03-5638-3211

承り時間／月～土曜・祝日9:15～20:00 日曜10:00～20:00

関東ゴルフ連盟事務局 03-6278-0005

所属ゴルフ倶楽部支配人他事務スタッフにもお問い合わせ下さい。

関東ゴルフ連盟

## 新規加盟倶楽部紹介



## 1. 倶楽部名 富士OGMゴルフクラブ 出島コース（準会員）

住 所 〒300-0204  
茨城県かすみがうら市下軽部881

電 話 029-896-1011  
F A X 029-896-0950

## 2. 支配人 高須 勝

## 3. 倶楽部概要

秀峰筑波山を望み、緑と水の大地、霞ヶ浦の大自然に抱かれ、なだらかな丘陵地に広がる18のステージ。

お車でのアクセスは、常磐自動車道土浦北IC下車～19km約30分（三郷ICから約1時間）。電車では常磐線

土浦駅東口下車、お車で約20分。

「良いショットは必ず良い結果を生む」をポリシーに、アメリカを代表するプロゴルファー／ラリーネルソン氏と、日本を代表する故富沢廣親氏のアイディアと個性を融合させた富士OGMゴルフクラブ出島コース。

全体的にフラットなフェアウェイに美しい池を配し、絶妙なアンジュレーションのある広いペントのワングリーンは年間を通じて良い状態を保ち、戦略性に富んだ18ホールに仕上げております。

かつては、男子プロゴルフ「日経カップ」、女子プロゴルフ「ダンロップレディース」の舞台にも選ばれ、上級者から初心者までご満足いただけるコースセッティングとなっております。

そして、緑豊かな自然に溶け込む素朴で重厚感のある北欧風のクラブハウスは、豪華な雰囲気を漂わせるばかりではなく、快適性と機能性を特に重視し、利用されるお客様の立場になって設計されており、上級のリラクゼーションスペースをご提供致します。

当コースは毎日が朝食・昼食・コース売店ドリンク、さらにはプレー後のデザートまでがセットのプレースタイルが好評で、一日を心ゆくまで存分にご堪能いただけます。

## 月例競技成績表

〔平成19年度4月月例〕 平成19年4月27日(金) 千葉カントリークラブ・梅郷コース

男子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	70	水上 晃男	袖ヶ浦
	2	71	小平 智	鷹
	3	72	齊藤 剛	リバーサイドフェニックス
	4	73	丸山 聖	千葉国際
	4	73	小原 淳	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	79	高橋香雅美	小田原・松田
	2	79	植田希実子	大宮国際
	3	80	西村 友希	太平洋・佐野ヒルクレスト
	3	80	木戸 愛	ロイヤルスター
	3	80	阿部 悠	柏崎黒姫

※優勝はプレーオフによる

〔平成19年度6月月例〕 平成19年6月15日(金) 大利根カントリークラブ・西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	68	齊藤 剛	リバーサイドフェニックス
	2	71	永野 雄亮	かずさ
	2	71	梶谷 卓矢	習志野
	2	71	青木 龍一	東名
	2	71	館 英樹	富士笠間
	2	71	竹石 要佑	筑波

女子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	72	佐藤 千絵	伊勢原
	2	74	矢嶋 里菜	霞ヶ関
	3	75	佐藤 彩香	小田原・松田

〔平成19年度7月月例〕 平成19年7月23日(月) 小金井カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	69	大槻 智春	千葉桜の里
	2	69	角田 浩溥	東千葉
	3	70	永田 昭二	ノースショア
	4	71	保田 和貴	マナ
	4	71	青木 龍一	東名
	4	71	加藤 隆之	成田東
	4	71	丸山 聖	千葉国際

女子	ランク	スコア	氏 名	所 属
	1	75	高橋香雅美	小田原・松田
	2	76	露木 直子	東名厚木
	2	76	南雲 真理	岡部チサン

平成19年9月1日発行 KGA NEWS No.95

発行所／関東ゴルフ連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目-18番-11号 銀座SCビル4階

TEL.03-6278-0005 FAX 03-6278-0008 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／吉田 友明 編集／広報委員会